Shower toilet

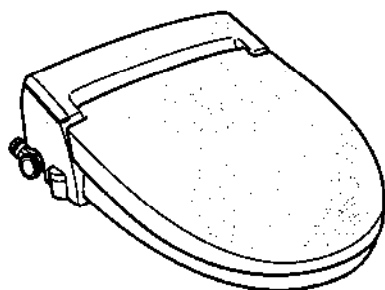
取扱説明書

保証書付
（別添）

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

シャワートイレ Eシリーズ

CW-E131型・CW-E130型
CW-E121型・CW-E120型
CW-E111型・CW-E110型

もくじ

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、
次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

各部の名称

■全体図

リモコン

タンク
便フタ
サプライ管
分岐金具
止水栓
本体給水ホース
漏電保護プラグ
アース線
ストレーナー
（下記参照）
受光部
本体
表示部
（☞2ページ参照）
ラベル
脱臭カートリッジ
（☞2ページ参照）
温風暖房吹出口〈温風暖房付〉
（☞2ページ参照）
乾燥吹出口〈乾燥付〉
ノズル（おしり用）
ノズル（ビデ用）
便座
便器

■ストレーナー

※ 水道水内の異物を除去する働きをします。
本体給水ホース内の水を抜くときに外します。

■漏電保護プラグ

※漏電時、電源を遮断します。

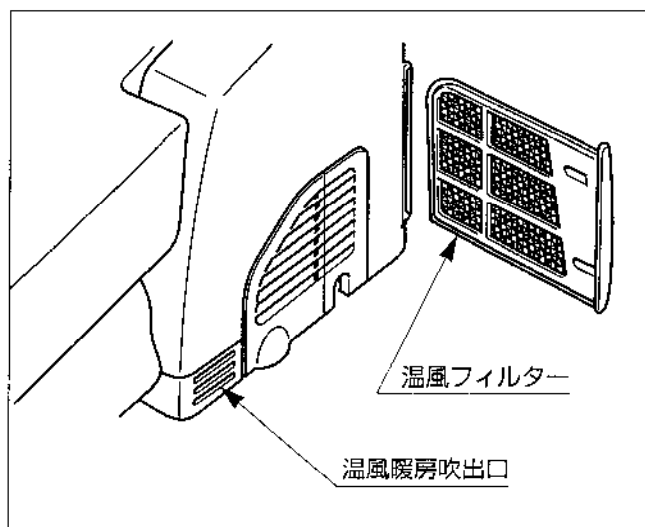
■表示部

■脱臭カートリッジ

※ニオイを吸収・除去します。

■温風暖房吹出口 温風フィルター

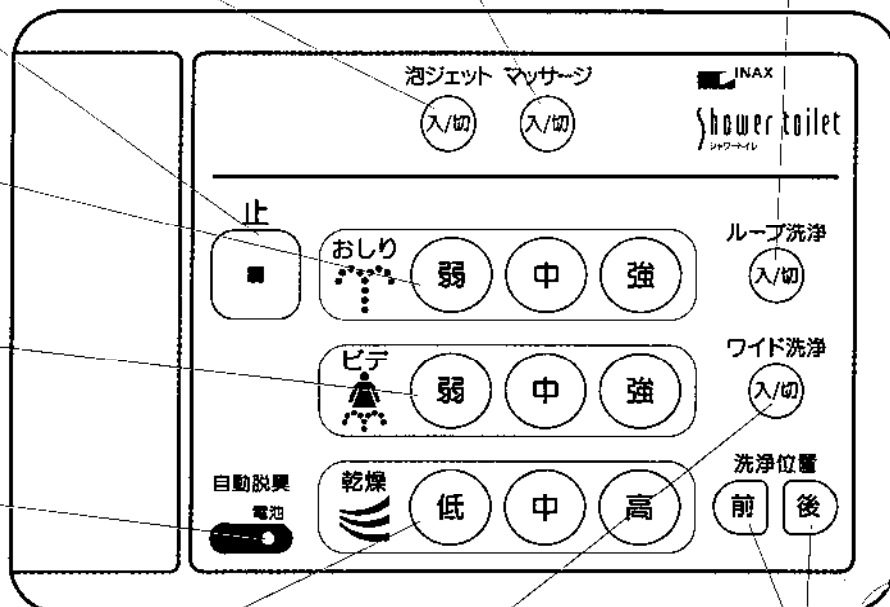
〈温風暖房・乾燥付〉

各部の名称

●機能一覧表

○：機能有　ー：機能無　△：別売品

品番＼機能	乾燥	温風暖房	ループ洗浄	流せるもん
CW-E130, E131型	○*	○	○	△
CW-E120, E121型	○	○	―	△
CW-E110, E111型	―	―	―	―

＊：CW-E130,E131型は、パワー乾燥です。

■リモコン

※ 脱臭は自動脱臭になっています。(☞15ページ)

安全上の注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・「分解してはいけません！」

・・・・「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

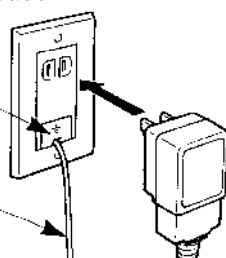
・・・・「指示した場所に触れてはいけません！」

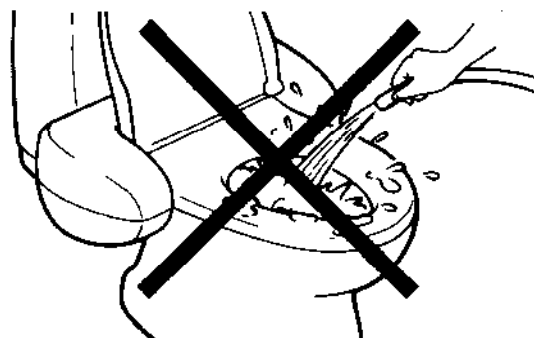
・・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

・・・・「漏電保護プラグをコンセントから抜きなさい！」

・・・・「アース線を接続しなさい！」

警告

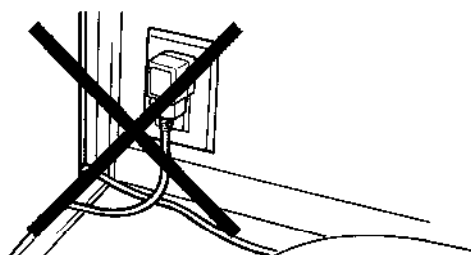
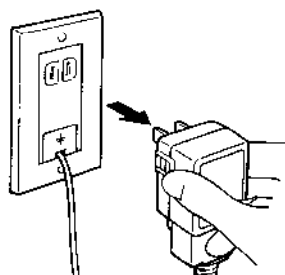
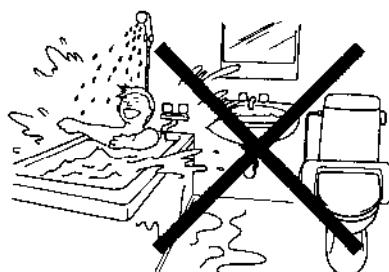
アースを確実に取り付けてください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

⚠警告

お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、着座後便座スイッチを「低」、または「切」にしてご使用ください。
※長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

⚠注意

樹脂部のお手入れには、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて火災・感電の原因となります。

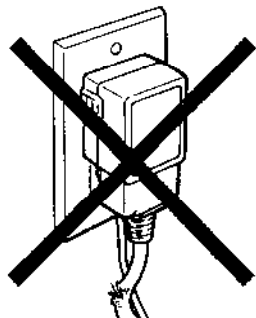
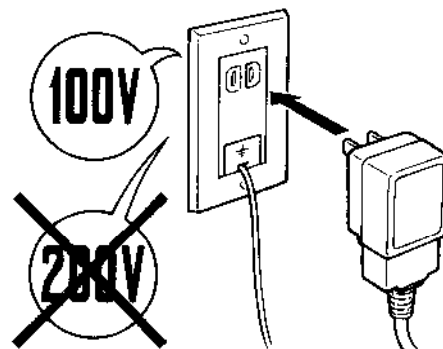
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

漏電保護プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の漏電保護プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※確実に締めないとストレーナー部から漏水します。

⚠注意

便座や本体カバーが破損した場合、コンセントから漏電保護プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用するとショートや感電の原因となります。

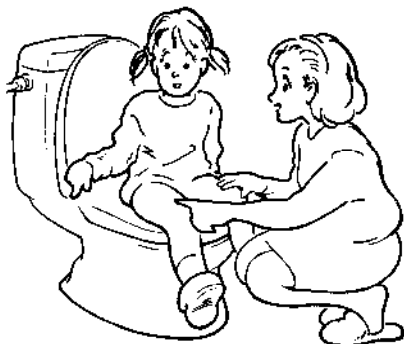
温風暖房の温風吹出口に触れないでください。
〈温風暖房付〉
※ヤケドの原因となります。

電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、ショート・発火の原因となります。

便フタや本体カバーの上に乗らないでください。
※破損してケガをすることがあります。

お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、乾燥スイッチを「低」にしてご使用ください。〈乾燥付〉
※高温での乾燥はヤケドの原因となります。

漏電保護プラグにほこりが付着したら必ずふき取ってください。
※火災・感電の原因となります。

小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。

ご使用中に普段と異なる音や煙、ニオイなどがしたら、ただちに使用をやめて漏電保護プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・㈱INAXメンテナンス・お客さま相談室にご連絡ください。

特長

■おしりを清潔に。おしり洗浄

温水がシャワー状になっておしりを洗います。また、適度な刺激を与え、血行を促すマッサージ効果もありますので、便秘や痔疾の方には特におすすめします。(☞12ページ)

■やさしいビデです。ビデ洗浄

女性専用のシャワー洗浄です。小用の後や汗をかいたとき、または生理中、妊娠中、出産後など、いつも清潔に保て、不快感をやわらげます。(☞12ページ)

■連続使用しても、いつまでも暖かシャワー。連続出湯式

使う時だけシャワーを温める湯沸し方式を採用しましたので、家族が連続で使用しても、温かいシャワーがいつまでも続きます。

■おしり、ビデ洗浄がさらに快適。
洗浄位置調節・ワイド洗浄・ループ洗浄・泡ジェット・マッサージ

おしりまたはビデ洗浄中に、シャワーが当たる位置を調節したり（洗浄位置調節）、広い範囲を洗浄（ワイド洗浄、ループ洗浄）する機能が付いています。また、洗浄力や洗い心地に優れた泡ジェット、一定のリズムで強弱がつくマッサージ洗浄など、お好みの洗浄方式を選んでいただけます。
(☞13、14ページ)

※ループ洗浄はCW-E130,E131型のみです。

■寒い冬でもお部屋は暖かい。温風暖房・冷込防止〈温風暖房付〉

温風暖房でお部屋を暖めます。また、室内が冷え込むと自動的に暖房を開始する冷込防止機能が付いています。寒い日でも快適にトイレを使用できます。(☞17ページ)

■あとの人にも快適。脱臭

使用時にニオイを吸い込んで除去します。トイレ室内は、いつも快適。(☞15ページ)

■寒い冬でも暖かい。暖房便座

お好みの温度に設定すれば、寒い日でも便座が暖かく使用できます。(☞11ページ)
また、便座と便フタには、ゆっくり閉じるスローダウン機構を採用しています。

■電気代を節約します。省エネタイプ

使う時だけシャワーを温める湯沸し方式を採用しましたので、待機中の消費電力を節約します。夜間など使用しないときに電源を切らなくても省エネができます。

■洗ったあとはさっぱりと。乾燥〈乾燥付〉

温風がおしりを乾燥させてくれます。清潔で、しかもお風呂上りのようなそう快感が得られるこの機能は、特に痔疾の方に喜ばれています。
また、CW-E130,E131型は、乾かしたい部分に温風が集中して当たるパワー乾燥になっています。(☞15ページ)

■便器鉢内の汚れをつきにくくする。便器スプレー

着座すると水が噴出して便器鉢内をぬらし、汚れを付きにくくします。(☞19ページ)

■お手入れ簡単。本体着脱・便フタワンタッチ着脱

シャワートイレ本体および便フタが簡単に外せ、便器とのすき間、狭い場所など楽に掃除ができます。(☞25、27ページ)

■ノズルがきれいで気分もすっきり。ノズルそうじ

スイッチひとつでノズルを洗浄します。新鮮な気持ちでおしりまたはビデ洗浄ができます。(☞16ページ)

■清潔。抗菌樹脂・抗菌シート採用

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌樹脂を、リモコンのスイッチシートには抗菌シートを採用しました。これにより黄ばみ、ニオイの原因となる雑菌の繁殖を抑えることができます。

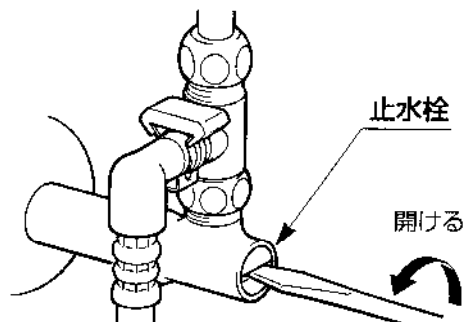
■安全への配慮。漏電保護プラグ

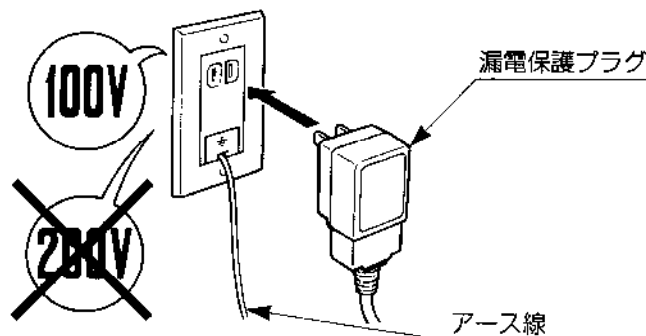
シャワートイレは電気製品です。万一の漏電に対して電源コードに漏電保護プラグが付いています。

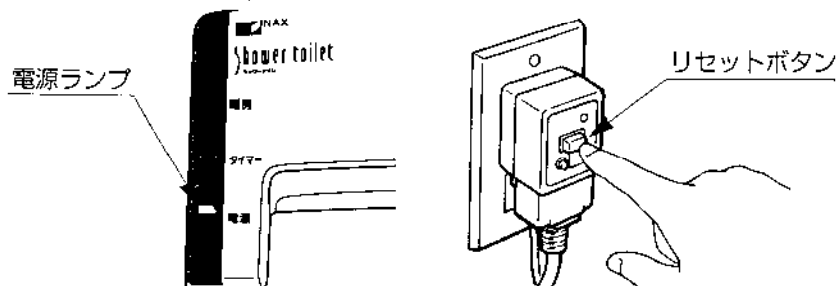
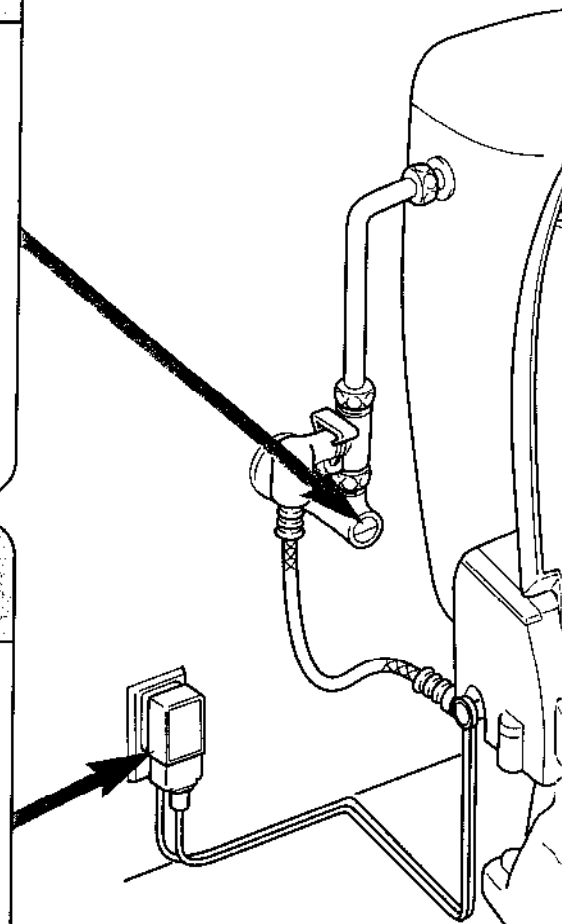
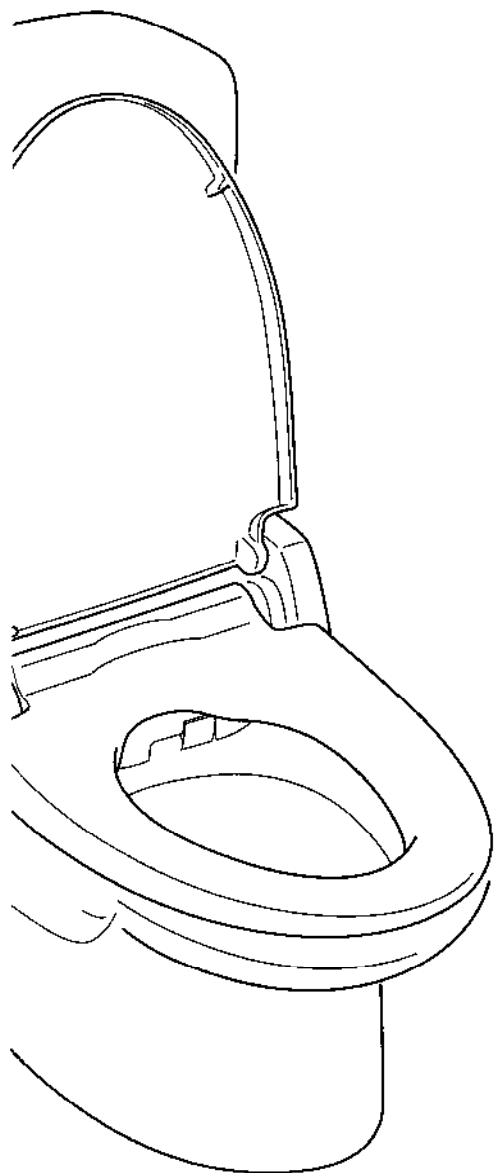
お使いになる前に確認してください

シャワートイレを便器に設置し、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

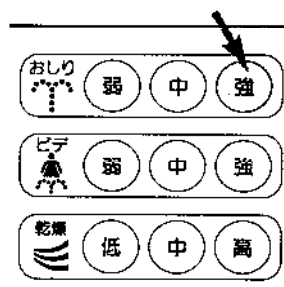
止水栓が閉まっている場合は、左に回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。

2 漏電保護プラグとアース線をコンセントに接続します。

1. アース線をコンセントのアース端子に接続します。
2. 漏電保護プラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込みます。

3. 本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

本体表示部の電源ランプ（緑）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら漏電保護プラグのリセットボタンを押してください。

※漏電保護プラグとは、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置です。

3 おしり洗浄を確認します。

1. **温水温度、便座温度をお好みの温度に合わせます。**（☞11ページ）

2. **手で便座を押したまま、おしりスイッチの「強」を押します。**

3. **ノズルが伸びてきたら、先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。**
   本体からノズルが出て、先端より温かいシャワーが噴出することを確認します。

4. **シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。**
   ご使用方法(11ページ以降)をご覧になって他の機能も確認してください。

※便座に着座センサーが付いていますので、便座を押し続けないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥〈乾燥付〉は作動しません。

⚠警告

アースを確実に取り付けてください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠注意

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

ご使用方法

《ご使用前に準備してください》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の「入」「切」）

電源スイッチを押して電源の「入」「切」をします。

※ 電源が入ると本体表示部の電源ランプが点灯します。

※ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度にセットしてください。

■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度にセットしてください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチをいれておけば、快適にご使用できます。

電源 入/切

ノズル そうじ

暖房 入/切

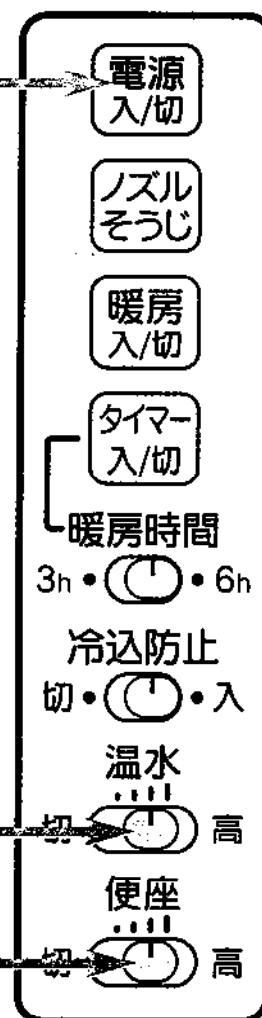
タイマー 入/切

暖房時間 3h・6h

冷込防止 切・入

温水 切 高

便座 切 高

ご使用方法

(参考)

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする"便座ヒーターオートOFF"機能が付いています。（☞19ページ参照）

⚠ 警告

お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、着座後便座スイッチを「低」、または「切」にしてご使用ください。

※長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

《操作は簡単です》

■おしり洗浄

1　おしりスイッチを押します。

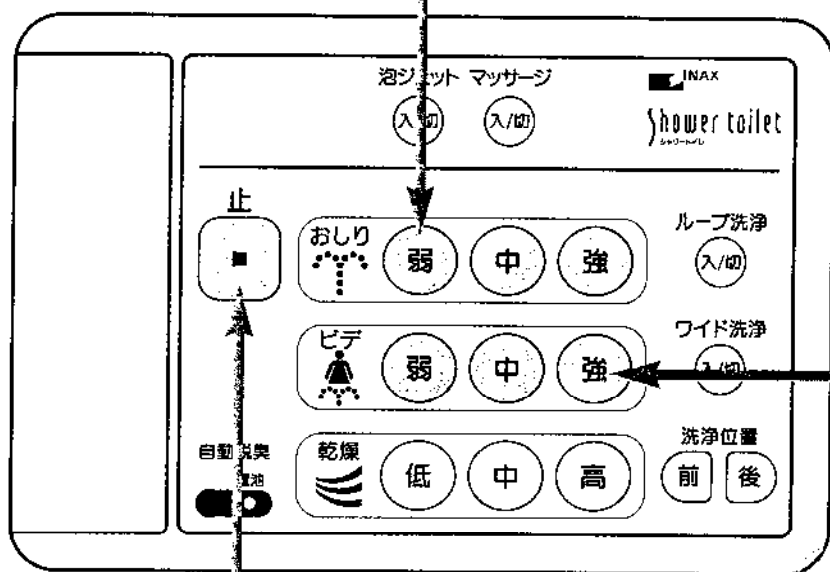
ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

※ 洗浄の強さは「弱・中・強」の3段階に調節できます。

■ビデ洗浄

1　ビデスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

※ 洗浄の強さは「弱・中・強」の3段階に調節できます。

2　止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

(参考)

- 汚れを付きにくくするため、座ると自動的に便器鉢内をぬらす水が噴出する "便器スプレー" 機能が付いています。(☞19ページ参照)
- 洗浄強さ「弱」「中」「強」は、リモコン裏の洗浄の強さ切替スイッチで設定を変更できます。(☞20ページ参照)

■ワイド洗浄

1 **ワイド洗浄スイッチを押します。**

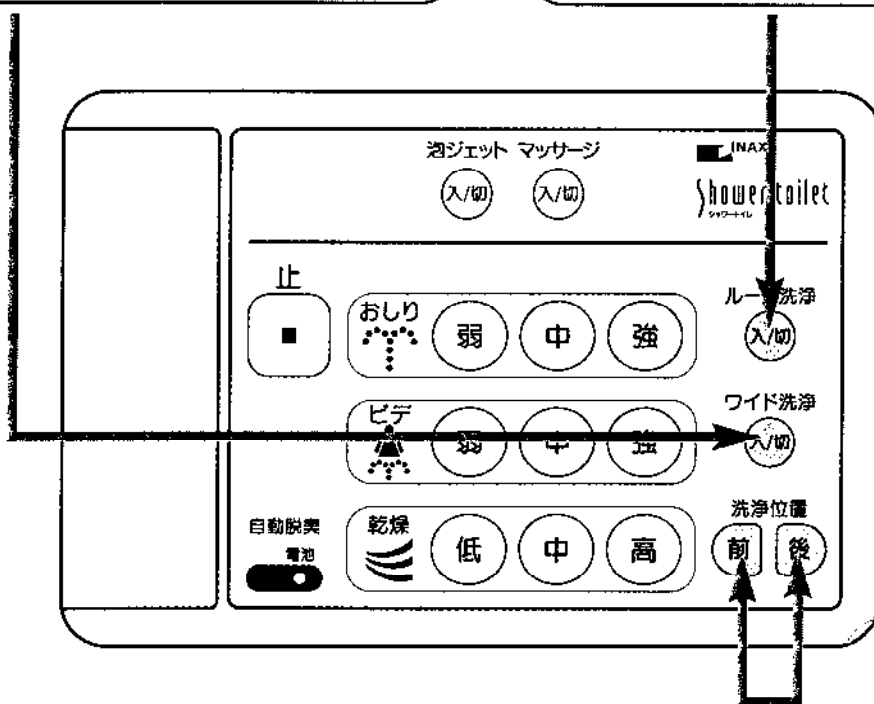
おしりまたはビデ洗浄中に洗浄ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

2 **止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。**

■ループ洗浄 〈CW-E130,E131型〉

1 **ループ洗浄スイッチを押します。**

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄ノズルが前後左右に動き、円を描いて広い範囲を洗浄します。

2 **止めるときは、再びループ洗浄スイッチを押します。**

■洗浄位置（洗浄位置の調節のしかた）

1 **洗浄位置調節の「前」または「後」スイッチを押します。**

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を「前」「後」に調節することができます。

※ 洗浄位置は、前側2段階、後側2段階の全5段階に調節ができます。

■泡ジェット（気泡入り洗浄）

1 はじめは「入」の状態です。

シャワーに空気を混入させ、洗浄力を向上させます。

※ 漏電保護プラグをコンセントに差し込んだ時は、自動的に「入」になります。

2 止めるときは、泡ジェットスイッチを押します。

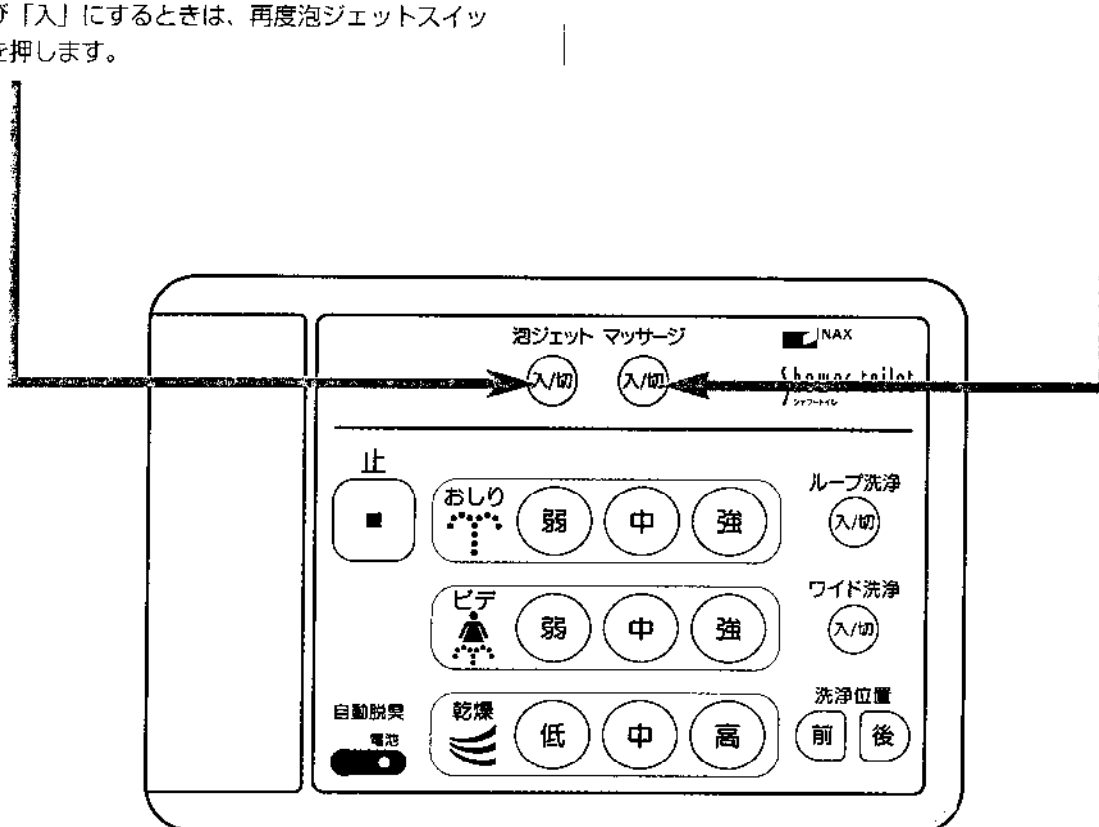
※ 再び「入」にするときは、再度泡ジェットスイッチを押します。

■マッサージ（マッサージ洗浄）

1 マッサージスイッチを押します。

シャワーに空気を断続的に混入させて強弱をつけますので、血行を良くするなどのマッサージ感があります。

2 止めるときは、再びマッサージスイッチを押します。

ご使用方法

■乾燥〈乾燥付〉

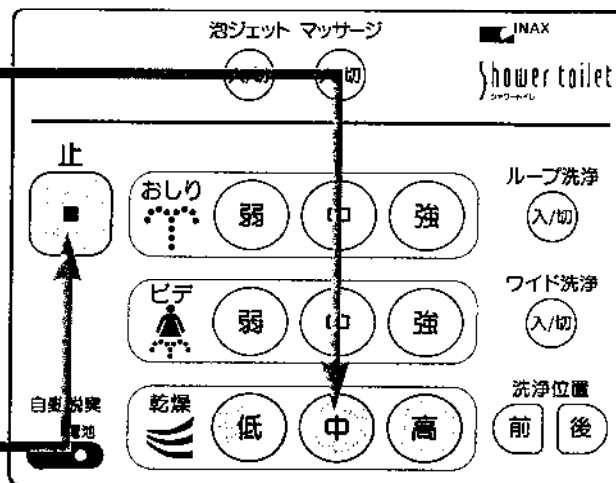
1 乾燥スイッチを押します。

温風がでて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

※ 温風の温度は「低・中・高」と3段階に調節できます。
※ 乾燥中は、暖房が停止します。

2 止めるときは止スイッチを押します。

※ 乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

(参考)
洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。

⚠ 注意

お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、乾燥スイッチを「低」にしてご使用ください。
※高温での乾燥はヤケドの原因となります。

■脱臭

1 便座に座ると脱臭を始めます。

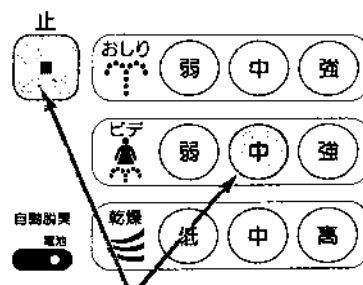
※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。(☞26ページ)

2 便座から立ち上がると約1分後に停止します。

(1分後に停止)

■脱臭を「切」にしたい場合に

(●操作方法)

止スイッチとビデスイッチの「中」を同時に2秒以上押し続けます。

同時に2秒以上押し続けます。
(セット完了時、電源ランプが一瞬点滅します。)

「切」にすると着座しても脱臭を行わなくなります。
その後、「入」にする場合も止スイッチとビデスイッチの「中」を同時に2秒以上押し続けます。

ご使用方法

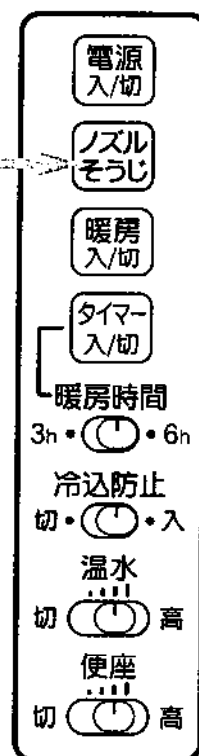
■ノズルそうじ

自動でそうじする場合

ノズルそうじスイッチを押します。

ノズルが本体に収納されたまま約15秒間洗浄します。このときノズル付近から水が出て、ノズルを洗い流します。

※ ノズルそうじは、15秒後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

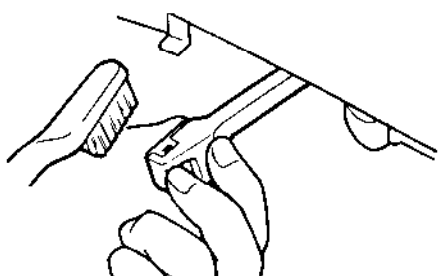
※ 使用時、おしりまたはビデスイッチを押すと、自動的にノズルをそうじし、その後シャワーが出ます。

歯ブラシ等でそうじする場合

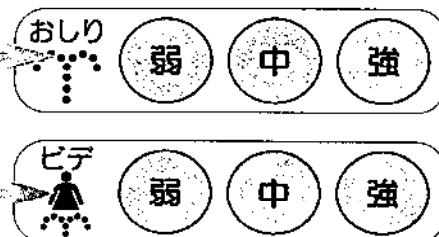
1 ノズルそうじスイッチを押します。

※ ノズル付近から水が出ます。

2 15秒以内におしりまたはビデスイッチを押します。

押したほうのノズルが前に出てきます。
「弱・中・強」のいずれのスイッチでも可能です。

※ 歯ブラシ等でノズルを掃除してください。

3 ノズルを戻すときは、止スイッチを押します。

注意

ノズルを無理矢理手で引っぱり出さないでください。
※故障の原因になります。

■暖房（温風暖房のしかた）〈温風暖房付〉

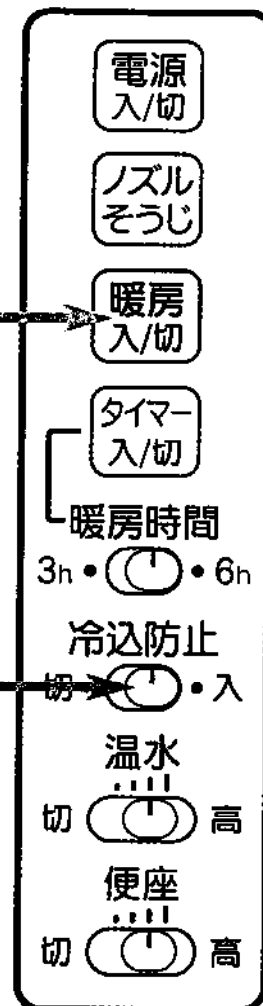
1 **暖房スイッチを押します。**
（本体表示部の暖房ランプ点灯）

吹出口から温風が出て部屋を暖めます。

※ 室内の温度が20℃より高い場合は、温風が出なかったり、途中で止まったりすることがありますが、故障ではありません。
※ 温風暖房機能は、12時間後に自動停止します。
暖房を継続する場合は、停止してから再度暖房スイッチを押してください。

2 **止めるときは、再び暖房スイッチを押します。**
（暖房ランプ消灯）

電源 入/切
ノズル そうじ
暖房 入/切
タイマー 入/切
暖房時間 3h • 6h
冷込防止 切 • 入
温水 切 高
便座 切 高

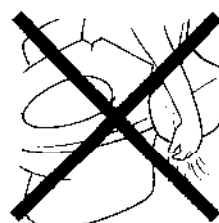
ご使用方法

■冷込防止〈温風暖房付〉

1 **冷込防止スイッチを「入」にします。**

室内が冷え込むと自動的に暖房を開始し、室温を約5℃に保ちます。

2 **切るときは、冷込防止スイッチを「切」にします。**

⚠注意

温風暖房の温風吹出口に触れないでください。
〈温風暖房付〉
※ヤケドの原因となります。

■タイマー（暖房予約のしかた）〈温風暖房付〉

タイマースイッチで暖房の予約をしておくと、次の日から毎日予約した時間に室内が暖まるよう、設定した時刻より1時間前から自動運転を始めます。

1 暖房時間スイッチで運転時間を選択します。

※ 運転時間は、3時間または6時間です。この時間には、予約時間の1時間前暖房も含まれています。

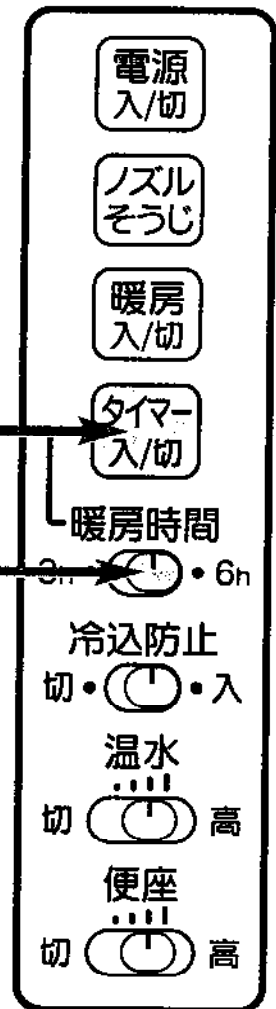
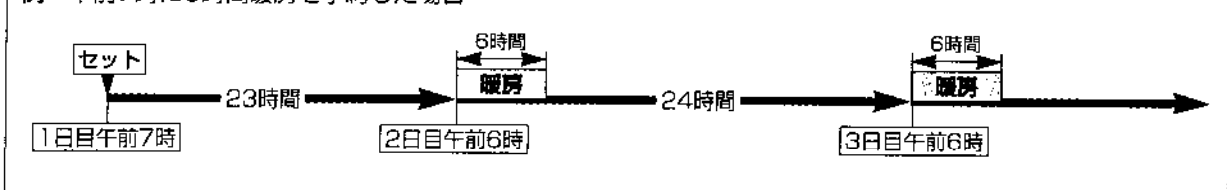
2 タイマースイッチを押します。
（本体表示部のタイマーランプ点灯）

※ タイマースイッチを入にした時間が予約時間となります。次の日より、予約時間の1時間前から暖房を始めます。

3 取り消すときは、再びタイマースイッチを押します。（タイマーランプ消灯）

※ 漏電保護プラグをコンセントから抜いたり、2日以上便座に座らなかった場合は、タイマー予約が取り消されます。

電源 入/切
ノズル そうじ
暖房 入/切
タイマー 入/切
暖房時間
3h • 6h
冷込防止
切 • 入
温水
切 高
便座
切 高

参考

■ちょっと便利な機能

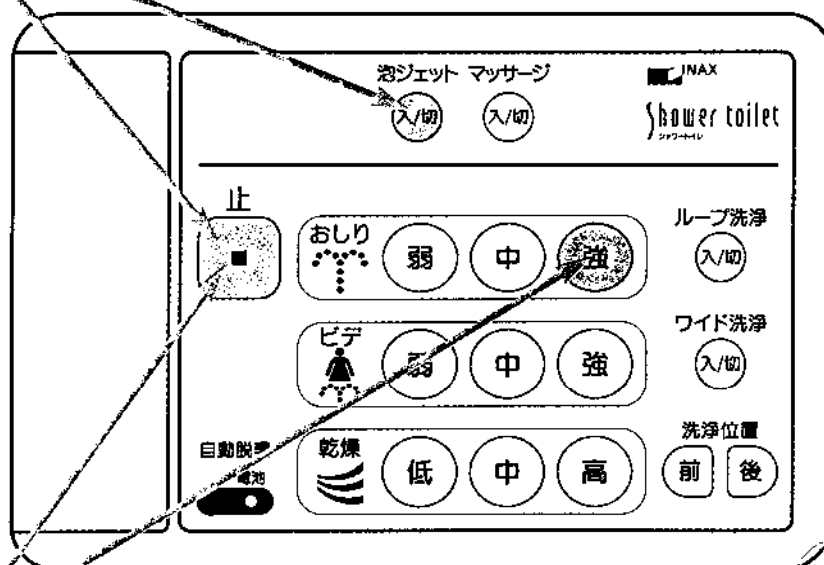
便器スプレーについて

汚れを付きにくくするため、座ると自動的に便鉢をぬらす水が噴出する機能が付いています。
もし、この機能を解除する場合は下記の要領で操作してください。

■解除およびセット方法

●止スイッチと泡ジェットスイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが一瞬点滅します。）

●セットも同じ方法で行います。

※停電時や漏電保護プラグをコンセントから抜いたりしたときは、この機能がセットされています。

便座ヒーターオートOFFについて

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。
下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

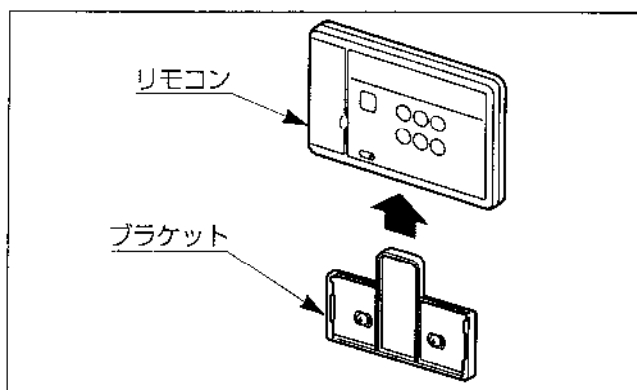
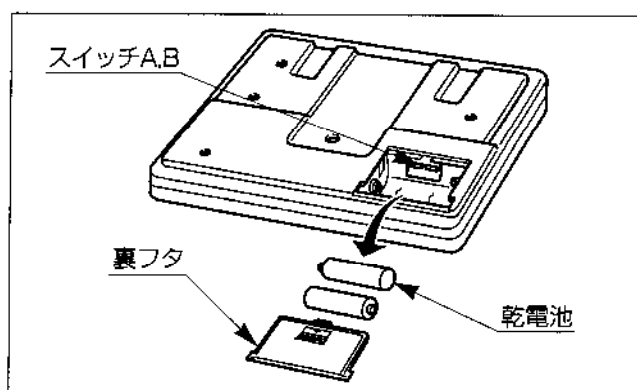
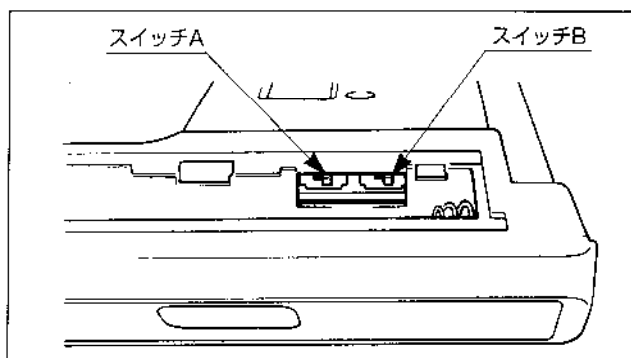
●止スイッチとおしりスイッチの「強」を同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが一瞬点滅します。）

●解除も同じ方法で行います。

※停電時や漏電保護プラグをコンセントから抜いたりしたときは、この機能が解除されますので、再セットしてください。
※この機能をセットしているときに、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。
※便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。

洗浄強さ「弱」「中」「強」の設定変更のしかた（おしり・ビデ）

おしり、ビデ洗浄は、シャワートイレ本体内部に**6段階**の洗浄強さを持っています。リモコンの洗浄強さ「弱」「中」「強」は、裏側の洗浄強さ切替スイッチにより、下記の組み合わせにしたがった設定に変更することができます。

1 **リモコンを持ち上げてブラケットから外します。**

2 **裏フタを外し、電池を取り出します。**

3 **スイッチA,Bを軽くボールペン等で切り替えます。**

注意 **スイッチを切り替えるとき、力を入れすぎるとスイッチが破損する恐れがありますので、ご注意ください。**

●：設定される洗浄強さ

	スイッチA	スイッチB	シャワートイレの洗浄強さ
①			最弱 ●(弱) ○ ○ ●(中) ○ ●(強) 最強
②			最弱 ●(弱) ●(中) ●(強) ○ ○ ○ 最強
③			最弱 ○ ●(弱) ○ ●(中) ○ ●(強) 最強
④			最弱 ●(弱) ○ ●(中) ○ ●(強) ○ 最強

購入時は、①の洗浄強さに設定してあります。

4 **電池を入れ、裏フタをはめてブラケットに取付けます。**

※ 電池のプラスとマイナスを間違わないようにしてください。

《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したら

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、漏電保護プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。

※ 漏電表示ランプが点灯したときは、漏電保護プラグをコンセントから抜き、しばらく間をおいて、再び差し込み、リセットボタンを押してください。それでもランプが点灯するようであれば、漏電保護プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または当社営業所・お客さま相談室へご連絡ください。

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

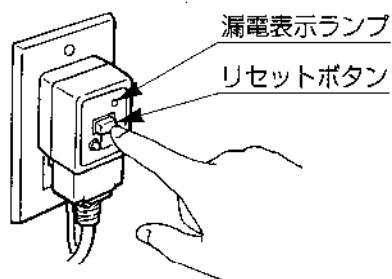
便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

はじめの頃、温風がすこし臭うかも知れません。〈乾燥付〉

新しいうちは、温風がすこし臭うことがありますが、ご使用とともに消えますので、ご心配はありません。

冬期、シャワーについて

給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの強さが多少弱くなることがあります。

着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥〈乾燥付〉、脱臭の各機能がはたらきません。

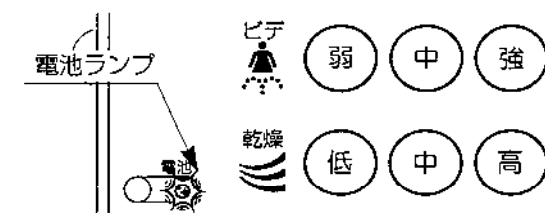
※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄等の操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上り、1～2秒経ってから再度座ってください。

ノズルの付近から出る水は？

洗浄中にノズル付近から水がでます。これは、構造上必要なもので故障ではありません。

※上記以外のときいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、漏電保護プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または当社営業所・お客様相談室へご連絡ください。

リモコンについて

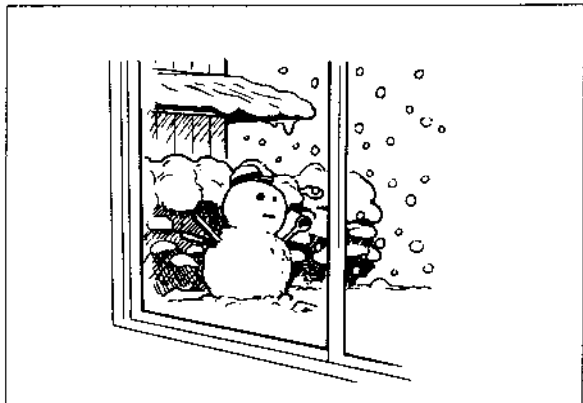
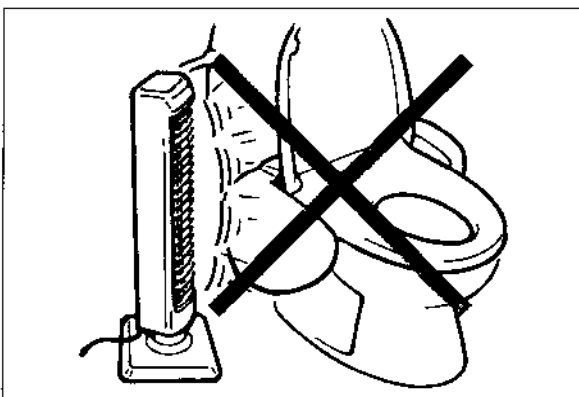
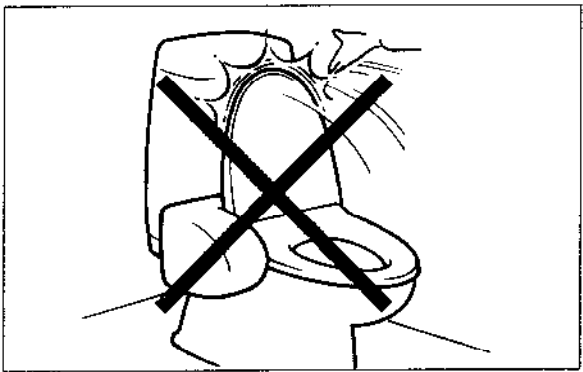
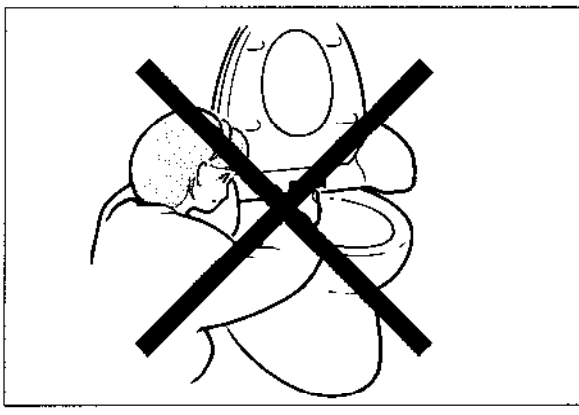
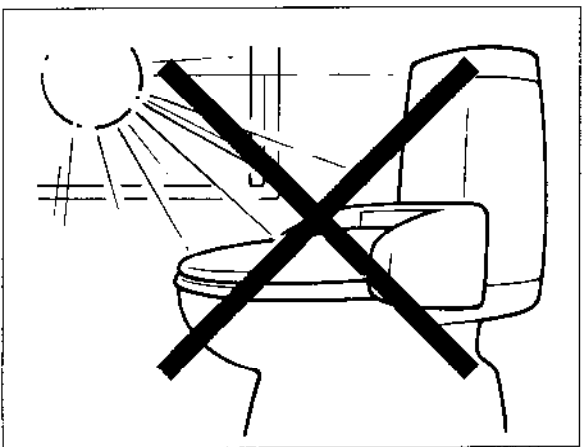
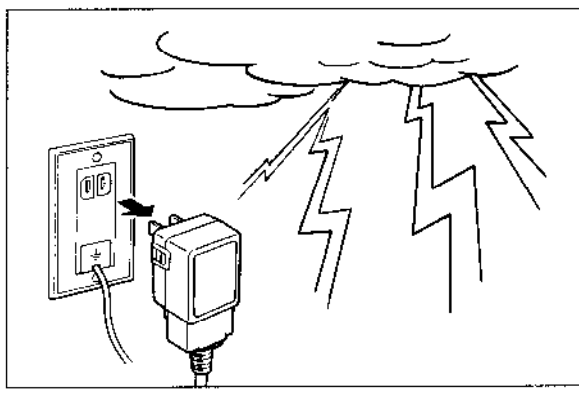
乾電池の寿命が近づくと、リモコンの電池ランプが点滅します。
お早めに新しい電池に交換してください。

(電池交換は☞33ページ)

布アクセサリーについて

便座にシートカバー・便フタカバーを付ける場合、不適切なカバーによっては、着座センサーが入りっ放しになったり、または入らなかったりして不具合が生じる場合があります。

お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。(☞35、36ページ)

シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※変色や故障の原因になります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

絶対に温風吹出口〈乾燥付〉をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。

直射日光が当たらないようにしてください。
※樹脂部が変色することがあります。

雷が近くで発生しているときは、漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
※事故や故障につながる場合があります。

お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

本体のお手入れのしかた

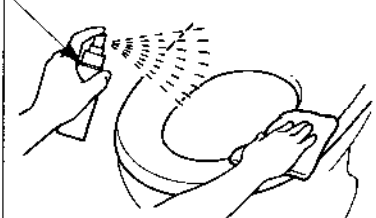
● **軽い汚れには、柔らかい布で水ぶきをしてください。**

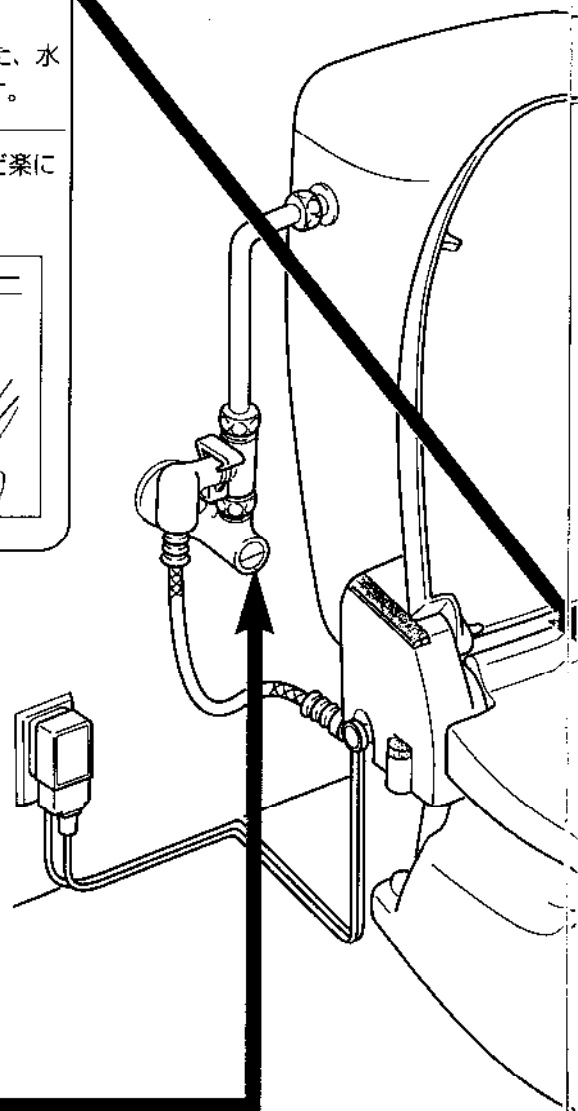
● **頑固な汚れにはシャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。**

もしくは、食器用中性洗剤のうすめた液（100倍程度）を布につけ、固く絞ってからふいてください。食器用中性洗剤を使用した場合には、使用後に水道水で湿らせた布できれいにふきとってください。
また、市販の便座用おそうじティッシュがご使用になれます。

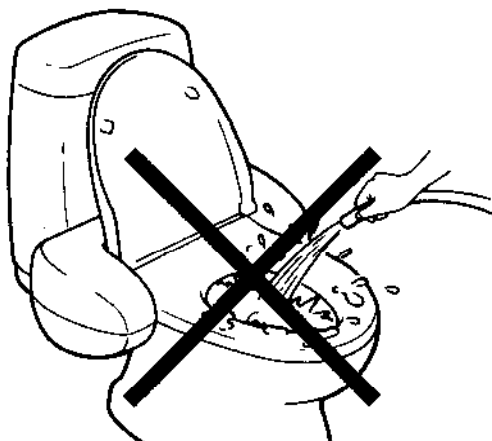
(参考)
汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

※シャワートイレ本体および便フタが簡単に外せ、便器とのすき間、狭い場所など楽に掃除ができます。(☞25、27ページ参照)

樹脂部のお手入れには、シャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。
汚れに直接スプレーし、トイレットペーパーなどでふきとるだけですからとても簡単です。
シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）の購入方法は、41ページをご覧ください。

分岐金具や止水栓のお手入れのしかた

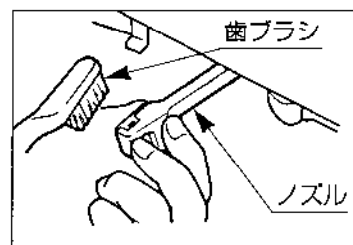
分岐金具や止水栓などのメッキ金具は、ミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくと、美しい輝きを保てます。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

⚠注意

樹脂部のお手入れには、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて火災・感電の原因となります。

ノズルのお手入れのしかた

ノズルそうじスイッチを押して自動でそうじしたり、頑固な汚れにはノズルを自動で引き出しておいて、歯ブラシ等でそうじすることができます。(☞16ページ参照)

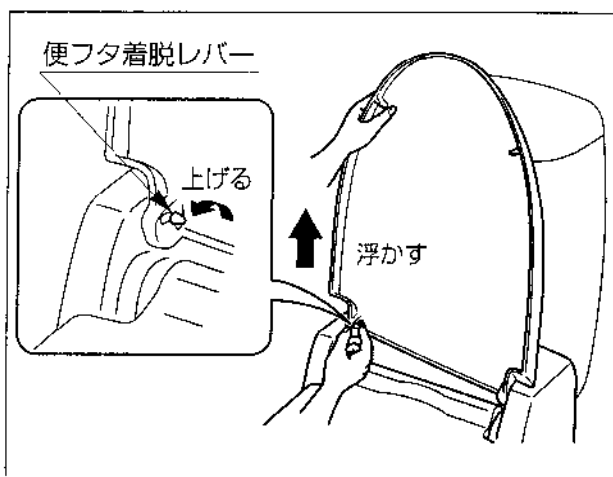
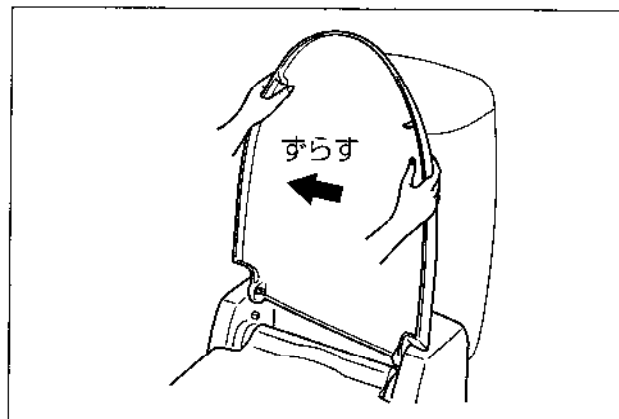
注意

ノズルを無理矢理手で引っぱり出さないでください。
※故障の原因になります。

お手入れ方法

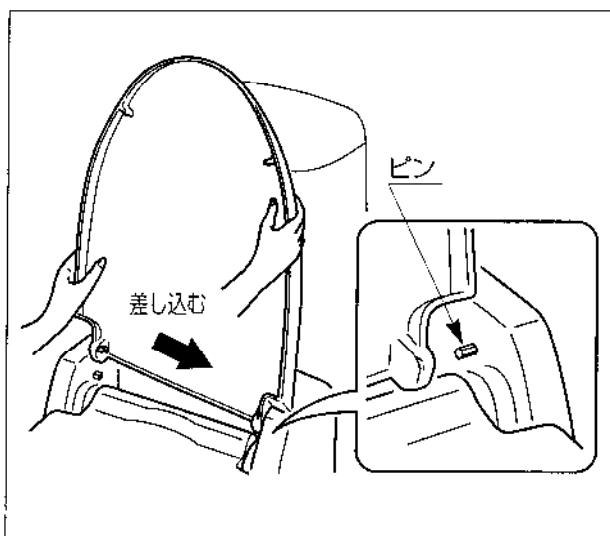
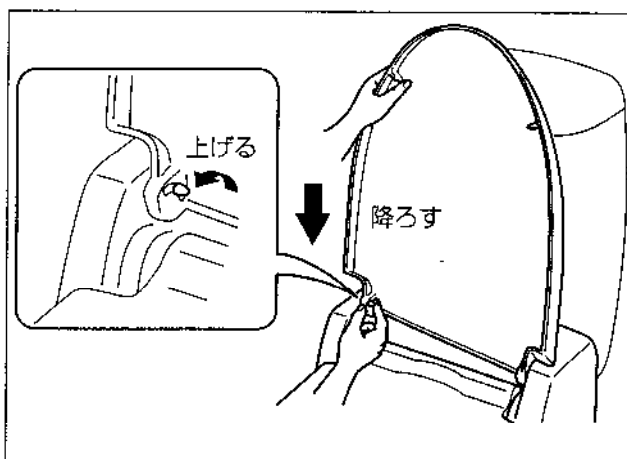
- KILAMIC抗菌商品は,商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。

《便フタを外して掃除します》

便フタの外しかた

1. 便フタを開け、便フタ着脱レバーを上げたまま、左側を浮かせます。

2. 便フタを左にずらして外します。

注意 強引に持ち上げると割れるなど破損の原因となります。

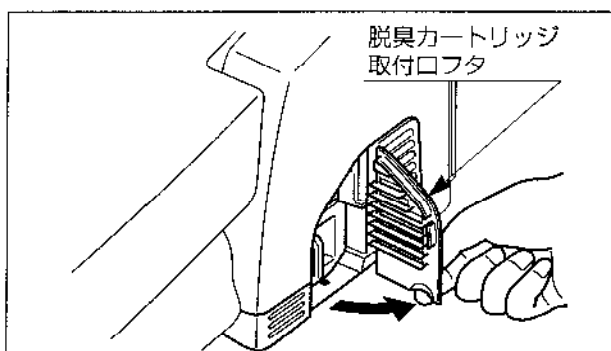
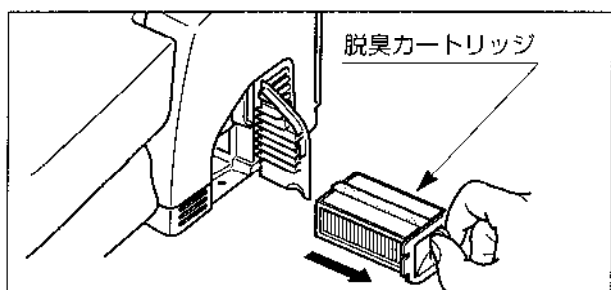
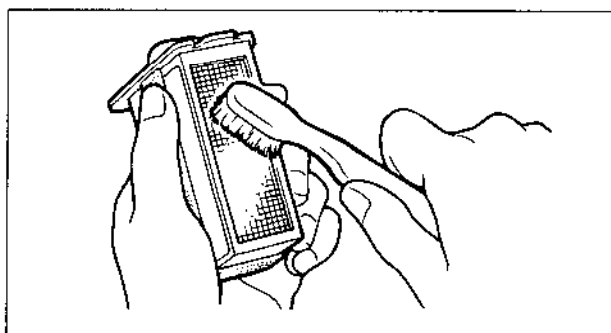
便フタの組み付けかた

1. 便フタ右側のピン穴と本体のピンを合わせて差し込みます。

2. 便フタ着脱レバーを上げたまま、左側を降ろしてセットします。便フタが傾いていないことを確認してください。

お手入れのあとは、電源スイッチを押して本体表示部の電源ランプが点灯することを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. 脱臭カートリッジ取付口のフタを開けます。

2. 脱臭カートリッジを引き抜きます。

3. フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。

注意 脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

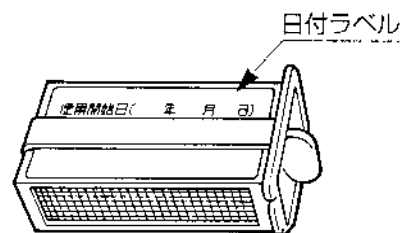
4. 日付ラベルを上にして脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタを閉めます。

お手入れ方法

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

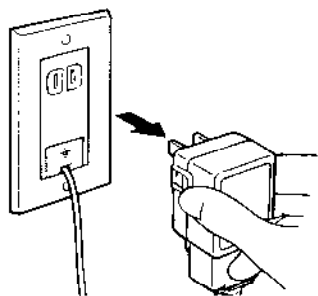
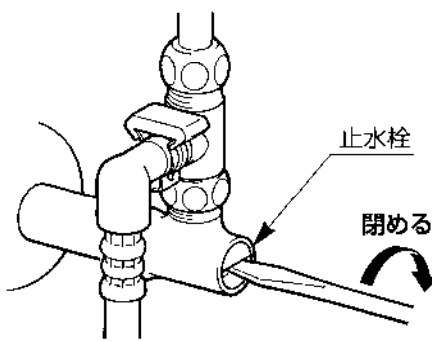
清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約7年です。

※脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

脱臭カートリッジを交換する際には、次回交換の目安として、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

※お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、41ページ"別売品の購入方法"をご覧ください。

《本体を外して掃除します》

1．本体の外しかた

1. 漏電保護プラグをコンセントから抜きます。（注意1.参照）

2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

3. 本体取付ボルトからクイックナットを外します。

本体取付ボルト

本体

平パッキン

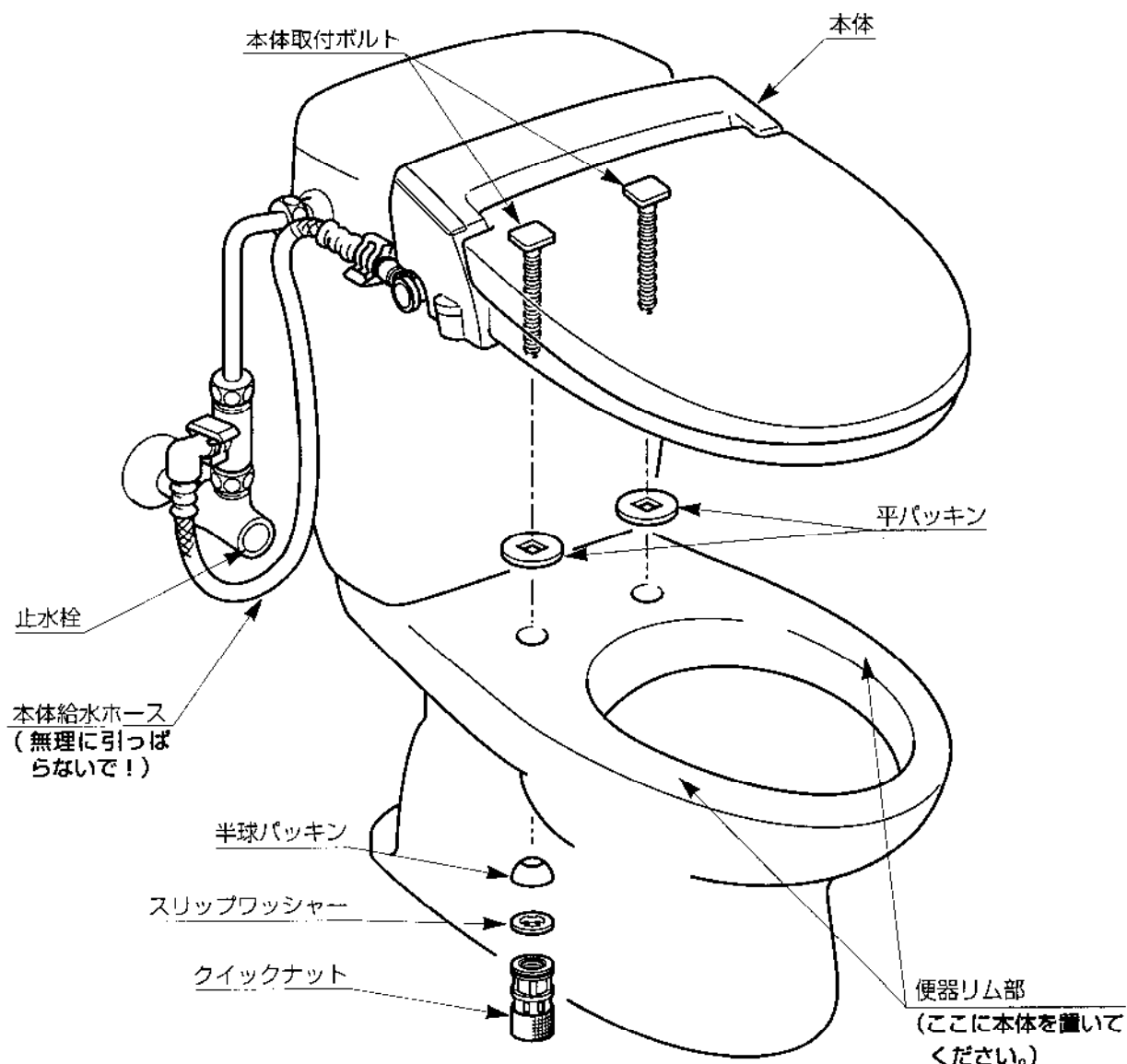
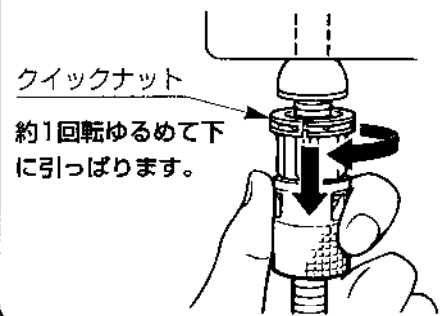
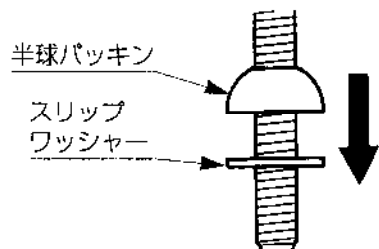
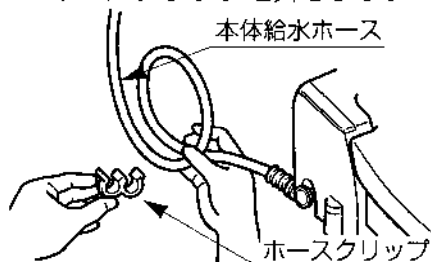
止水栓

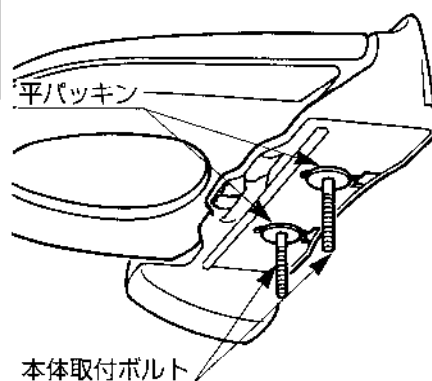
本体給水ホース
（無理に引っぱらないで！）

半球パッキン

スリップワッシャー

クイックナット

便器リム部
（ここに本体を置いてください。）

4. 本体取付ボルトからスリップワッシャーと半球パッキンを外します。（注意2.参照）

5. ホースクリップが付いている場合は、本体給水ホースからホースクリップを外します。

6. 本体を静かに垂直に持ち上げ、便器から外します。
（注意3.と4.参照）

7. 本体に本体取付ボルト、平パッキンが確実に取付いていることを確認します。（注意2.参照）

8. 本体を便器リム部に静かに置きます。（注意3.と4.、5.参照）

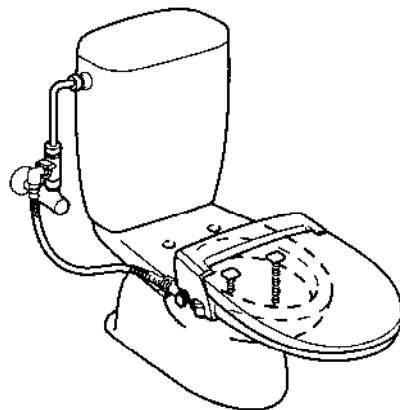
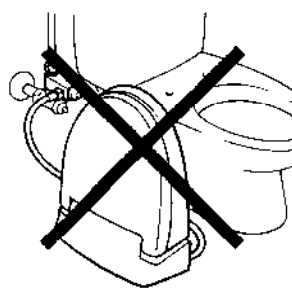
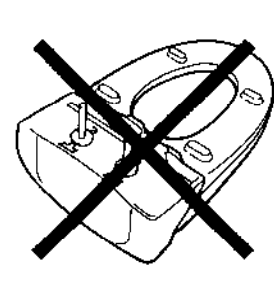
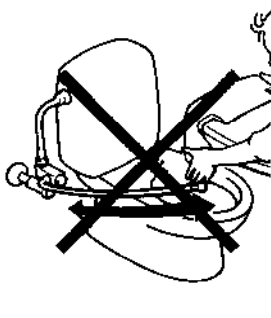
注意

1. **漏電保護プラグを必ずコンセントから抜いてください。**
※故障の原因になることがあります。

2. **パッキン類やスリップワッシャー・本体取付ボルトなどの部品を紛失しないように注意してください。**
特に便器内に落とさないようにしてください。

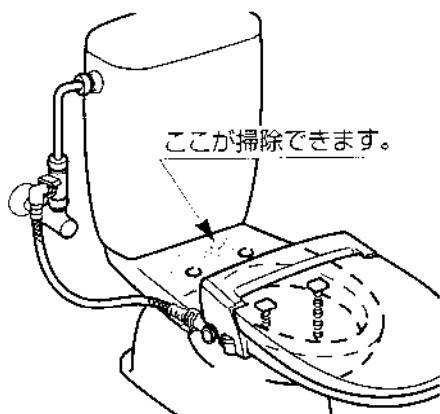
3. **コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。**
※破損や漏水の恐れがあります。

4. **本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。**
※漏水・故障の原因となります。

5. **本体は、絶対に傾けたり、裏返さないでください。**
※故障の原因になります。

●床に置かないで！
●立てかけたりしないで！

●本体を傾けないで！
●裏返さないで！

●引っぱらないで！

※和風アタッチメントとのセットの場合は、本体を外して掃除することはできません。

お手入れ方法

2.掃除のしかた

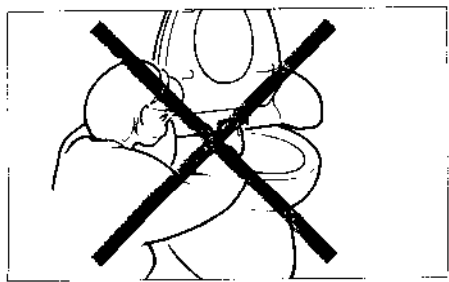
●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

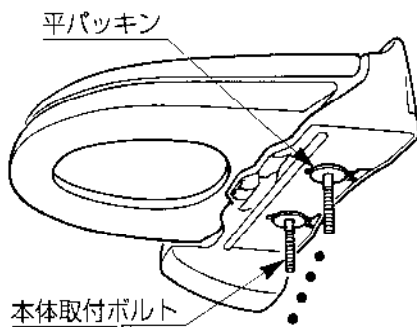
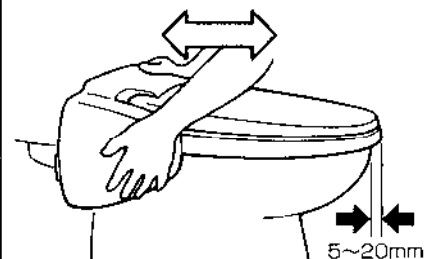
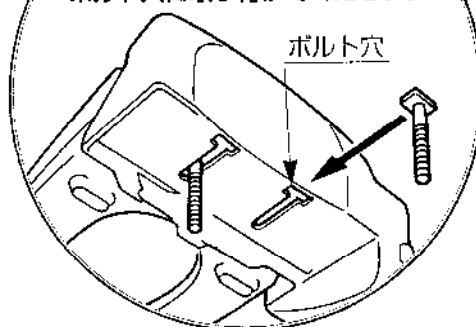
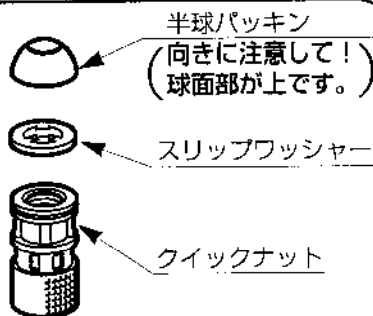
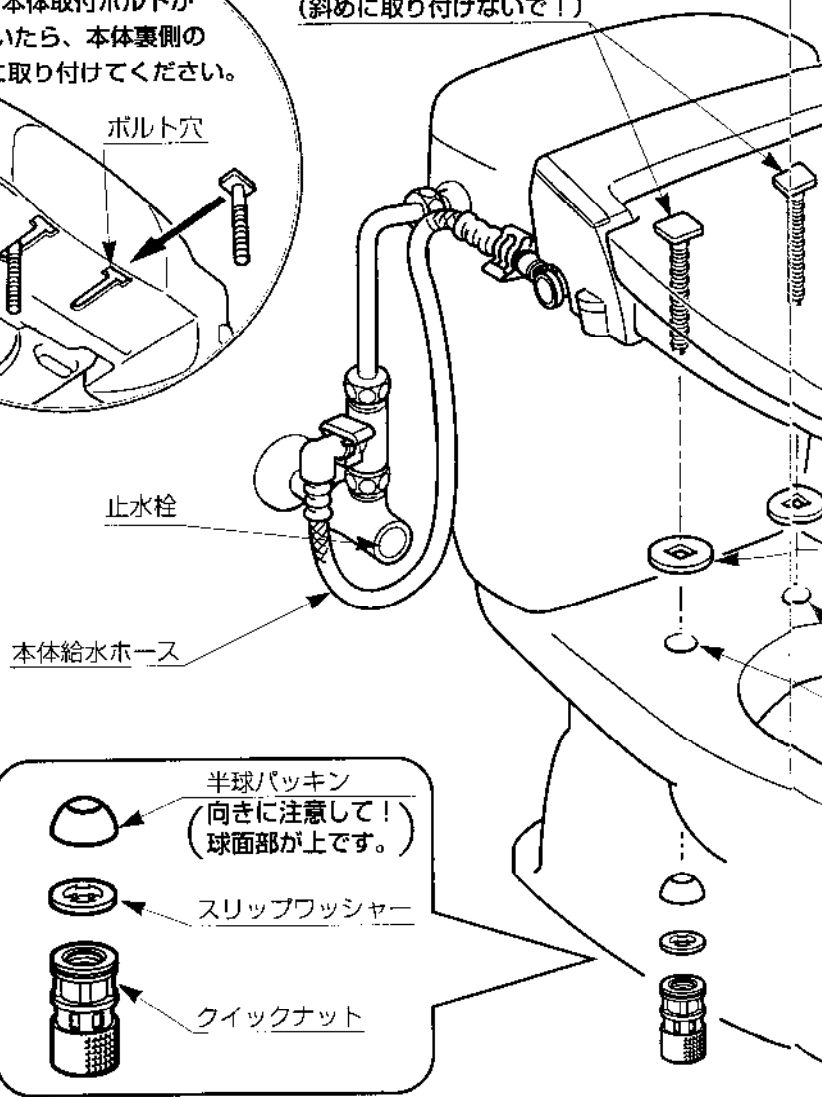
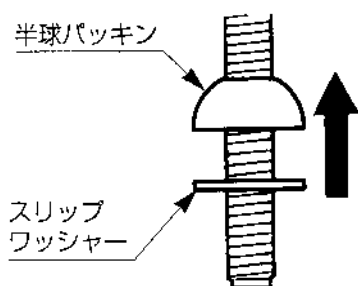
本体に水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

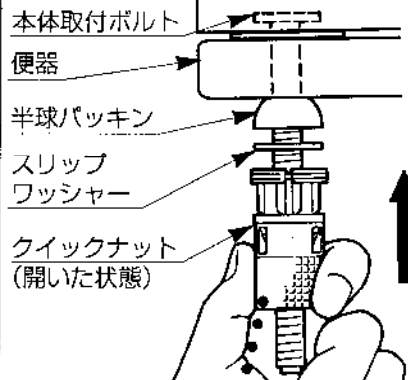
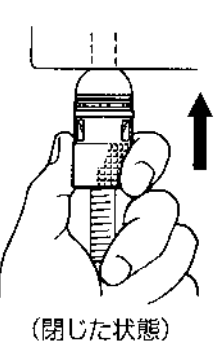
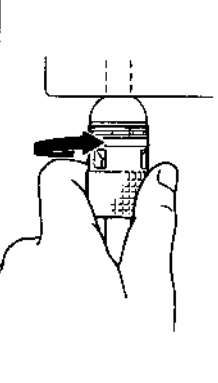
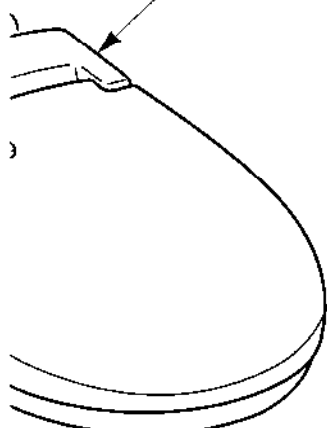
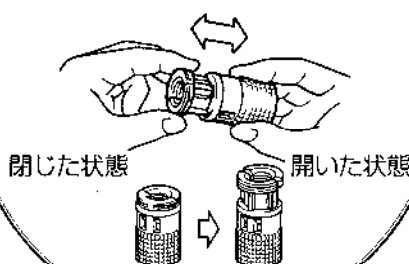
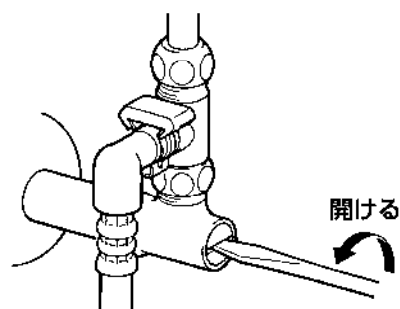
注意

● **本体を傾けないでください。**
※故障の原因になります。

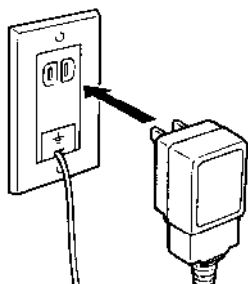
● **便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。**
※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

● **温風口やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。**
※手をケガしたり、故障の原因になります。

3.本体の組付けかた

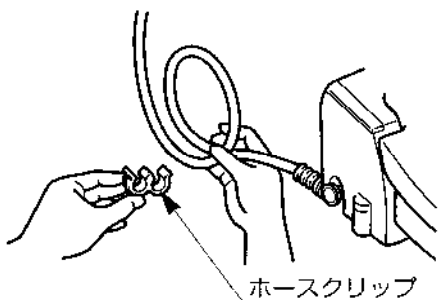
1.本体に本体取付ボルト、平パッキンが確実に取付いていることを確認します。

2.本体取付ボルトを便器の取付穴に通して本体を設置します。

※便座の先端が便器の先端より5~20mmでるように前後の位置調節をします。

3. 本体取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通します。

半球パッキンの向きに注意してください。球面部が上です。

4. 本体取付ボルトに開いているクイックナットを通して締め付けます。

もし、クイックナットが閉じていたら、引っぱって開いてください。

5. 止水栓を開いて、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

6. 漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。

7. ホースクリップが付いていた場合は、本体給水ホースを丸めてホースクリップで固定します。(注意1,参照)

注意

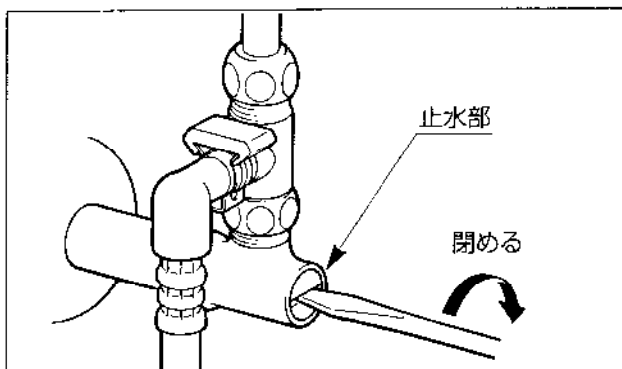
ホース類を無理に曲げないでください。

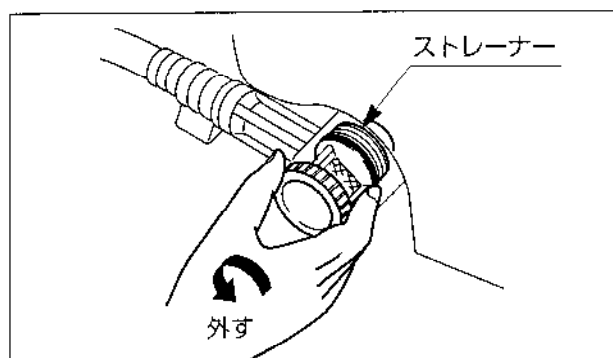
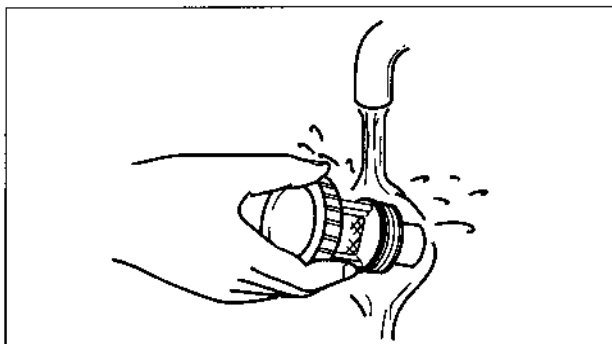
※つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

8. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
(☞9、10ページ)

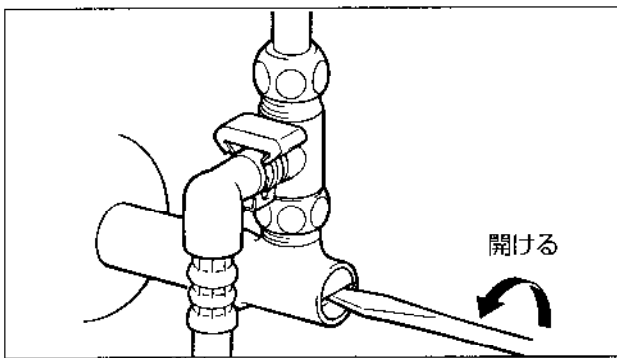
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

2. 本体左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

3. ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。

4. ストレーナーを確実に取り付けます。

5. 止水栓を開きます。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞9、10ページ）

⚠ 注意

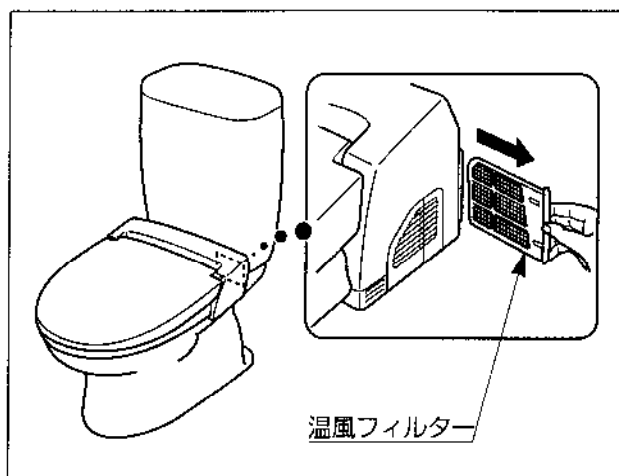
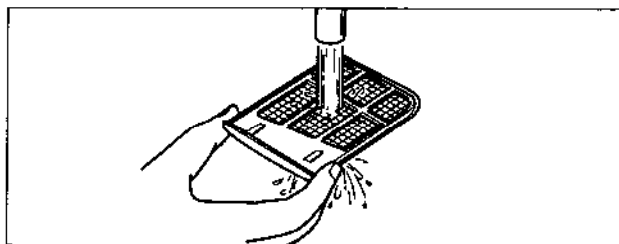
止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※ 確実に締めないとストレーナー部から漏水します。

《温風フィルターの掃除〈乾燥・温風暖房付〉》

温風フィルターがホコリ等で詰まると乾燥能力や暖房能力が低下します。1ヶ月に1回程度掃除をしてください。

温風フィルターの掃除方法

1. 本体右奥の温風フィルターを取り外します。

2. フィルターを水洗いしてホコリ等を取り除きます。

3. 乾燥させてから、フィルターを元の場所に取り付けます。

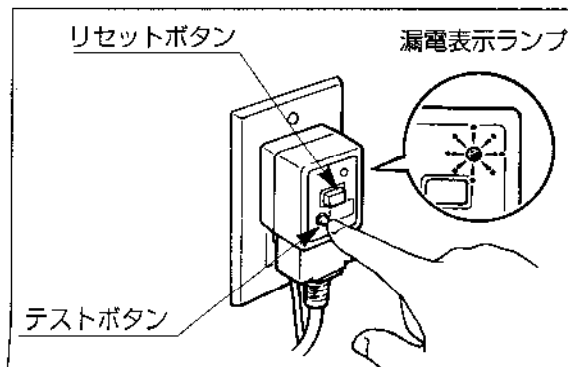
注意 フィルターを外したまま、使用しないでください。
※故障の原因となります。

《漏電保護プラグの点検》

漏電保護プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
(目安としては月に1～2回程度です。)

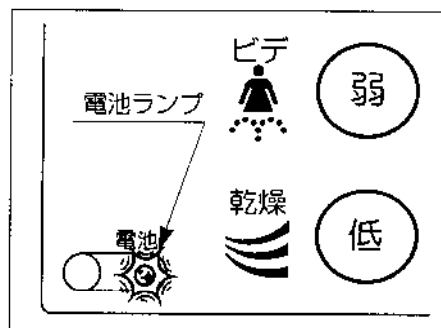
漏電保護プラグの点検方法

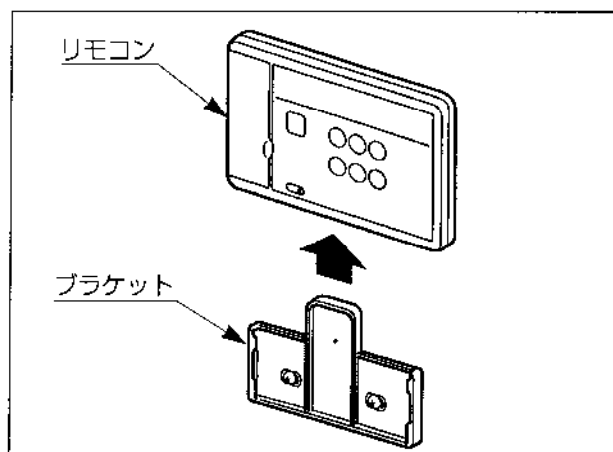
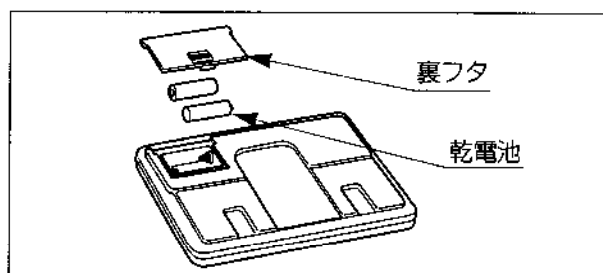
1. 漏電保護プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。

2. リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認してください。

《リモコンの電池交換》

リモコンの電池の寿命が近づくと、電池ランプが点滅表示します。
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。
※通常は消灯しています。

注意

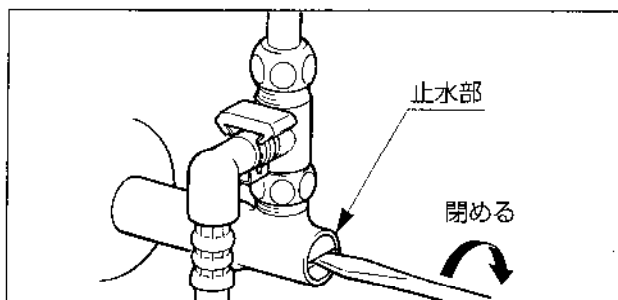
- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**

リモコン電池の取替方法

1. リモコンを持ち上げて、ブラケットから外します。

2. 裏フタを外し、新しい乾電池（1.5V単三、2本）に取り替えます。

3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

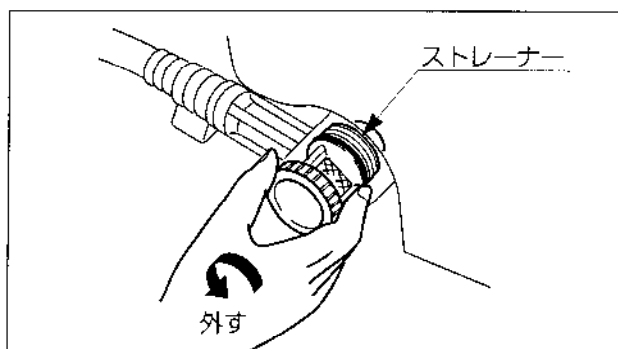
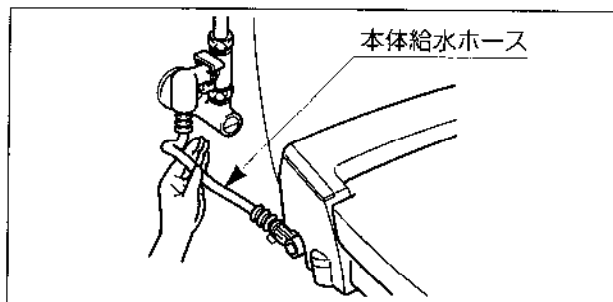
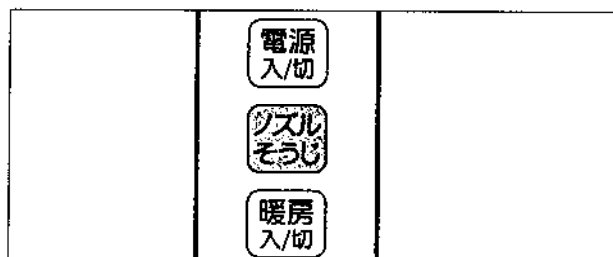
長期間使用しない場合

以下の場合は水抜きを必ず行ってください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度がさがり、凍結する恐れがあります。）

水抜きおよび電源の取外し

1. 止水栓を閉めて、タンクへの給水を止めます。

2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 洗面器等を置きます。
② ストレーナーを外します。

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

4. ノズルそうじスイッチを押して本体内の残水を抜きます。

5. ストレーナーを元に戻し、漏電保護プラグをコンセントから抜きます。

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞9、10ページ）

⚠ 注意

止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※確実に締めないとストレーナー部から漏水します。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

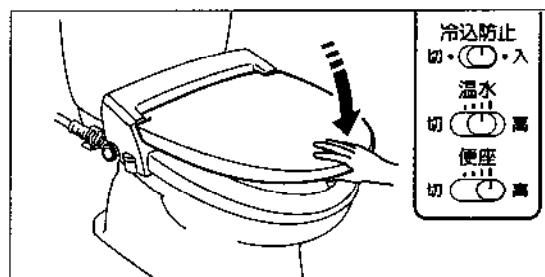
冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために必ず水抜きを行ってください。
漏電保護プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込んでおいてください。

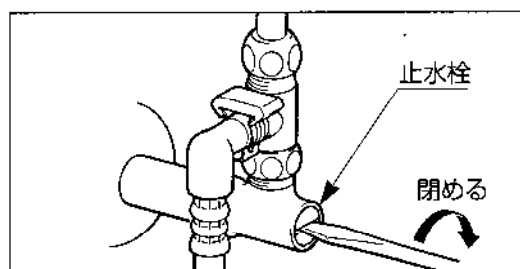
一 般 的 な 凍 結 防 止 方 法

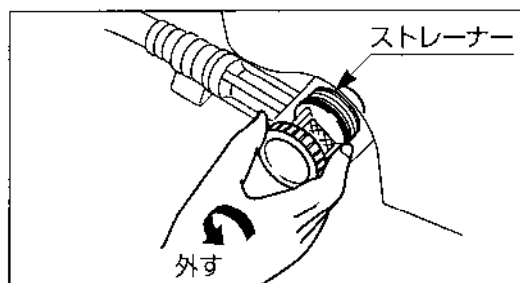
1. 便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

2. 室内を暖房します。

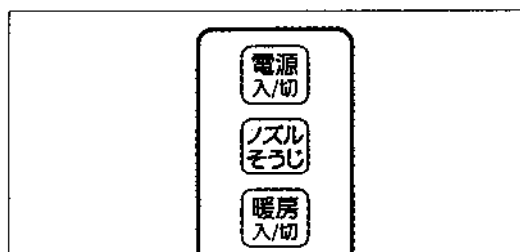
トイレ室内を暖房します。
温風暖房付の場合は、冷込防止スイッチを「入」にし、室内を一定の温度に保ちます。(☞17ページ)

※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

3. 本体給水ホースから水を抜きます。
(室内が暖房できない場合)

(1) 止水栓を閉めて、給水を止めます。

(2) 本体給水ホースから水を抜きます。

①洗面器等を置きます。
② ストレーナーを外します。
③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

(3) ノズルそうじスイッチを押して残水を抜きます。

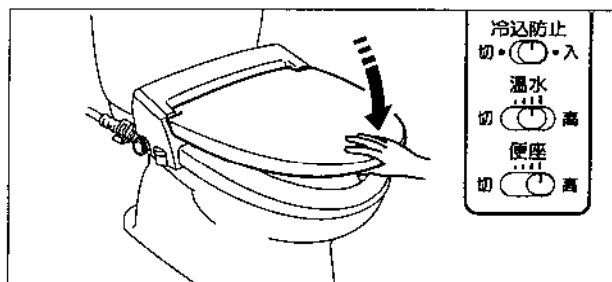
(4) 水抜き後、ストレーナーを締め付けます。

電源入/切
ノズルそうじ
暖房入/切

4. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。(☞9、10ページ)

⚠注意

止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。 ※ストレーナー部から漏水します。	ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。 ※確実に締めないとストレーナー部から漏水します。

流動式タイプ便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

2. 便器本体の流動ハンドルを操作します。

便器本体の流動ハンドルを操作して、タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

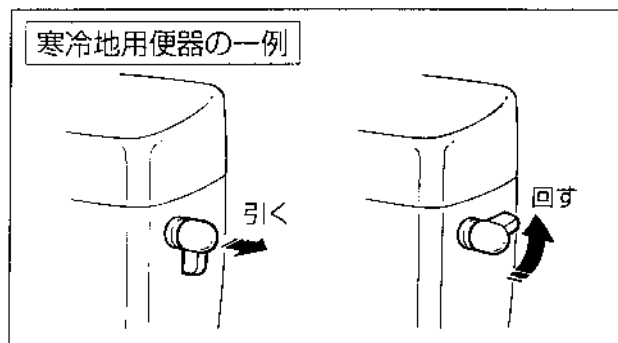
3. 室内を暖房します。

トイレ室内を暖房します。
温風暖房付の場合は、冷込防止スイッチを「入」にし、室内を一定の温度に保ちます。
(☞17ページ)

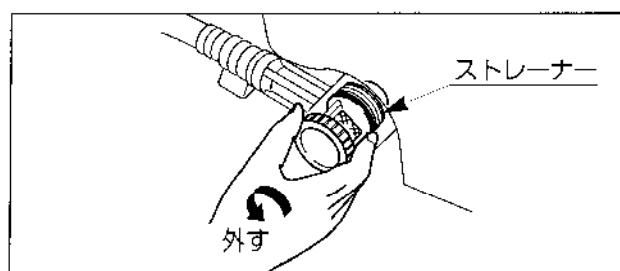
水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

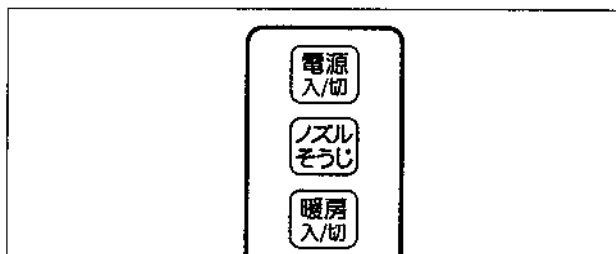
1. 便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

2. 室内（便器）の水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

3. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

4. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 洗面器等を置きます。

② ストレーナーを外します。

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

5. ノズルそうじスイッチを押して本体内の残水を抜きます。

6. 水抜き後、ストレーナーを締め付けます。

7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。(☞9、10ページ)

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない。（ノズルが出ない。）	電源コンセントに電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。
	漏電保護プラグがコンセントに差し込まれていない。	漏電保護プラグを完全に差し込みます。
	漏電している。（漏電表示ランプが点灯している。）	漏電保護プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、漏電保護プラグを抜き、修理を依頼してください。
	止水栓が閉じている。	止水栓を左に回します。（☞9ページ）
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をします。（☞31ページ）
	着座センサーが入っていない。	着座しないとシャワーはでません。（☞21ページ）
	リモコンの電池が切れている。	電池を交換します。（☞33ページ）
	本体給水ホース等が凍結している。	暖かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてください。または、室内を暖めて自然解凍を待ってください。（☞36ページ）
洗浄中、ノズル付近から水が出る。	構造上必要なものです。	故障ではありません（☞21ページ）
シャワーが温かくない。	温水スイッチが適当な温度に調節されていない。	温水スイッチで適当な温度に調節します。（☞11ページ）
便座が暖かくない。	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。
	便座スイッチが適当な温度に調節されていない。	便座スイッチで適当な温度に調節します。（☞11ページ）
本体表示部の電源ランプが点滅している。	いづれかの機能に不具合が生じている。	故障していますので、コンセントから漏電保護プラグを抜いて、修理を依頼してください。
長時間座ると便座がぬるく感じる。	便座ヒーターオートOFF機能が働いている	便座ヒーターオートOFF機能を解除します。（☞19ページ）
本体がガタつく。	クイックナットがゆるんでいる。	クイックナットを締め直してください。（☞30ページ）

※上記処置で故障が直らない場合は、お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室にご相談ください。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（37ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室にご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

2. 保証書をご覧ください

保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

※ 保証書は、販売店で所定事項を記入してからお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から1年間です。

なお、保証期間中でも以下の場合、有料修理とさせていただきます。

1) 使用・維持管理上の誤り、および不当な修理・改造による故障および損傷
2) お買い求め後の取付場所の移動、およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
3) 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
4) 消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
5) 保証書の提示がない場合
6) 保証書に取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

このほか保証書には、重要な事項を記載していますので、必ずよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

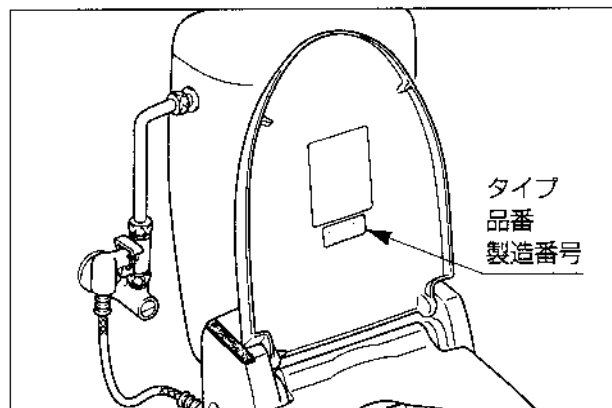
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

3. 修理を依頼されるとき（つづき）

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. タイプ（シャワートイレE100タイプ）
   品番・製造番号
3. ご購入日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、㈱INAXメンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品について不明な点、およびアフターサービスについておわかりにならないとき

お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室にご相談ください。

■お問い合わせ先について

お問い合わせの電話番号は、下記に記載しています。

- ●**お求めの販売店**：保証書をご覧ください。
- ●**当社支社、お客様相談室**：本書の裏表紙をご覧ください。
- ●**㈱INAXメンテナンス**：同梱のチラシをご覧ください。（フリーダイヤル：0120-1794-11）

お問い合わせの受付時間は、9：00～17：00（土、日、祝日を除く）です。

仕 様

タイプ		CW-E130,E131型 温風暖房付 パワー乾燥付	CW-E120,E121型 温風暖房付 乾燥付	CW-E110,E111型
給水方式		水道直結式		
使用水道圧範囲		0.05〜0.74MPa {0.5〜7.5kgf/cm²}		
最大定格		AC100V 1,200W 50/60Hz		
商品寸法		幅404×奥行510（標準便座）・540（大型便座）×高さ169mm		
商品質量		約5.1kg		
おしり・ビデ洗浄	湯沸かし方式	連続出湯式		
	ノズル	おしり・ビデ専用 電動モーター式		
	ノズル穴	おしり用：角穴（2.0×0.8mm）×1ヶ、ビデ用：Φ0.6×9ヶ		
	おしり洗浄吐水量	温水のみ：0〜0.5L/分（泡ジェット洗浄）（6段階調節）		
	ビデ洗浄吐水量	温水のみ：0〜0.6L/分（泡ジェット洗浄）（6段階調節）		
	温水ヒーター容量	1090W		
	温水制御温度	切（水温）・低（約36℃）・中（約38℃）・高（約40℃）4段階		
	安全装置	温度ヒューズ・安全サーモスタット・ 高温感知スイッチ・流量センサー		
乾燥	風量	0.25m³/分		—
	温風ヒーター容量	310W		—
	温風温度調節	低・中・高（室温補正制御）3段階		—
	安全装置	温度ヒューズ・サーモスタット		—
便座	ヒーター容量	55W		
	表面温度	切（室温）・低（28℃）・中（36℃）・高（40℃）		
	温度調節	4段階切替（マイコン制御）		
	安全装置	温度ヒューズ		
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式		
	脱臭能力	0.08m³/分		
	脱臭カートリッジ寿命	約7年		
温風暖房	風量	0.15m³/分		—
	温風ヒータ容量	310W		—
	温風温度調節	暖房時：室温＋15℃、冷込防止時：5℃		—
	タイマー	3時間・6時間		—
	安全装置	温度ヒューズ・サーモスタット		—
電源コード		有効長さ1.2m（漏電保護プラグ付）		
使用温度範囲		0〜40℃		
その他の機能		●着座センサー ●便座ヒーターオートOFF ●ループ洗浄〈CW-E130,E131型〉 ●便器スプレー ●便座・便フタスローダウン ●ノズルそうじスイッチ ●パワー乾燥〈CW-E130,E131型〉 ●便フタワンタッチ着脱機構 ●泡ジェット洗浄、洗浄位置調節、ワイド洗浄、マッサージ洗浄 ●便座・便フタ・本体カバー・ノズル・ゴム足・リモコンスイッチパネルに抗菌樹脂を採用		

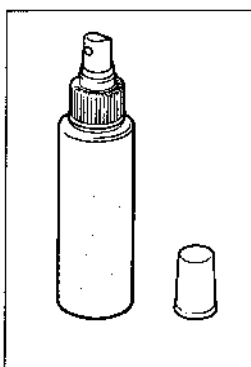
注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

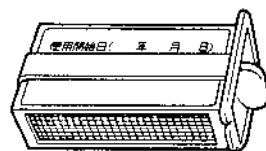
別売品のご案内

INAXでは、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

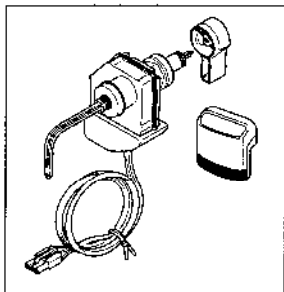
別売品について

■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

トイレ用洗剤や住宅用洗剤などで便座などの樹脂部をお手入れすると割れて事故につながることがあります。便座や便フタ、タンクカバーの樹脂部には、シャワートイレお掃除クリーナーをお使いください。(☞23ページ)

■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-33）

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。(☞26ページ)

■流せるもん 〈CW-E130, E131, E120, E121型〉（品番：CWA-13またはCWA-18）

便座から立ち上るだけで便器洗浄を行います。もちろんリモコンでも操作できます。

※ 便器によっては、取付けできない場合もあります。

■シートカバー（品番：ACF-355,455）
■便フタカバー（品番：ACF-343,443）

他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座スイッチが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。
シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。また、全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。（一部、取扱っていない場合もあります。）

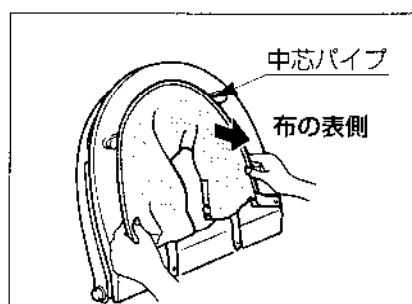
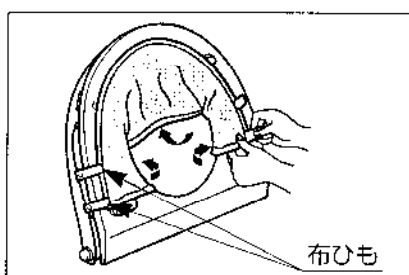
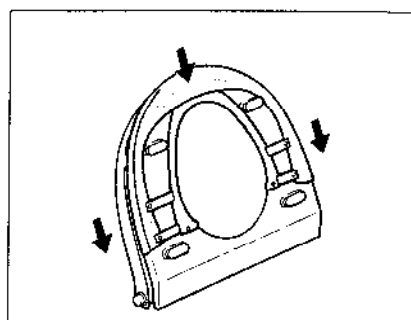
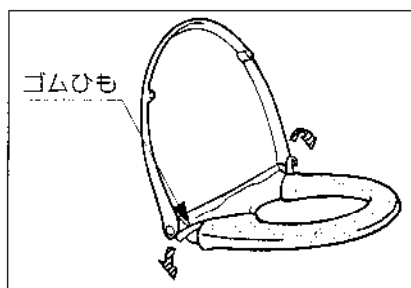
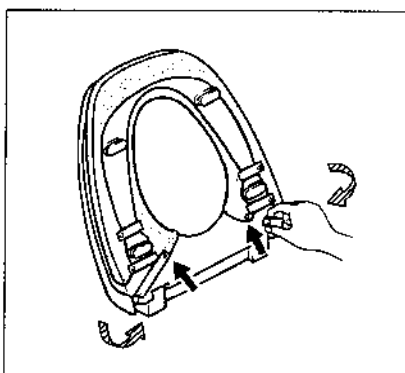
●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。（ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794）宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

《シートカバー（別売品）を装着する場合》

シートカバー（品番：ACF-355,455）を取り付ける場合は、下記の要領にしたがってください。

シートカバー（品番：ACF-355,455）の取付方法

① 便座を上げシートカバーの表側を手前にして、便座の穴にあてます。

② 布部分を便座の表側に押し込み、便座を包み込むようにして左右2カ所の布ひもを止めます。

③ レースゴム部で便座の先丸部を包み、全体を下げます。

④ 便座を約45°に傾けて、ゴムひもを便座の両角から通します。

⑤ 裏側へ回したゴムひもを裏側のゴムひも縫付部のホックに止め、シートカバーが便座にフィットするよう整えてできあがりです。

注意

上記は、当社アクセサリーのシートカバー（品番:ACF-355,455）の取付方法です。
他社製品のシートカバーとは異なりますのでご注意ください。

株式会社 INAX

本　　社	☎0569-35-2700	北海道支社	☎011-271-1713	東北支社	☎022-301-1701
首都圏統括支社	☎03-5541-7111	関東支社	☎048-668-1177	甲信支社	☎0263-36-2166
中部統括支社	☎052-201-1717	北陸支社	☎076-264-1710	関西統括支社	☎ 06-539-3500
中国支社	☎082-223-1710	四国支社	☎087-821-1701	九州支社	☎092-282-3154

●ショールームとお客さま相談室のご案内

札幌 ──011-271-1710　青森 ──0177-74-2345　仙台 ──022-265-1710　郡山 ──0249-22-7503
水戸 ──029-227-1718　高崎 ──0273-25-1257　宇都宮 ─028-634-2133　大宮 ──048-651-1791
銀座 ──03-5250-6560　新宿L21 ··03-3340-1700　千葉 ──043-222-1701　横浜 ──045-682-4031
松本 ──0263-36-7410　岐阜 ──058-276-1711　静岡 ──054-251-1701　名古屋 ─052-201-1715
岡崎 ──0564-58-1794　津 ──059-226-1715　新潟 ──025-228-1701　金沢 ──076-262-1701
京都 ── 075-231-1716　奈良 ──0742-35-3894　大阪 ── 06-539-3111　神戸 ──078-361-6680
岡山 ──086-222-0155　徳島 ──0886-26-1703　松山 ──089-931-5730　高松 ──087-821-1782
広島 ──082-227-1701　松江 ──0852-31-6038　山口 ──0839-73-2424　福岡 ──092-471-1700
熊本 ──096-322-1894　鹿児島 ─099-227-1755
東京お客さま相談室 ──03-5381-1799　名古屋お客さま相談室 ──052-201-1733
大阪お客さま相談室 ──06-539-3504

取扱店

GCW-0144(98061)